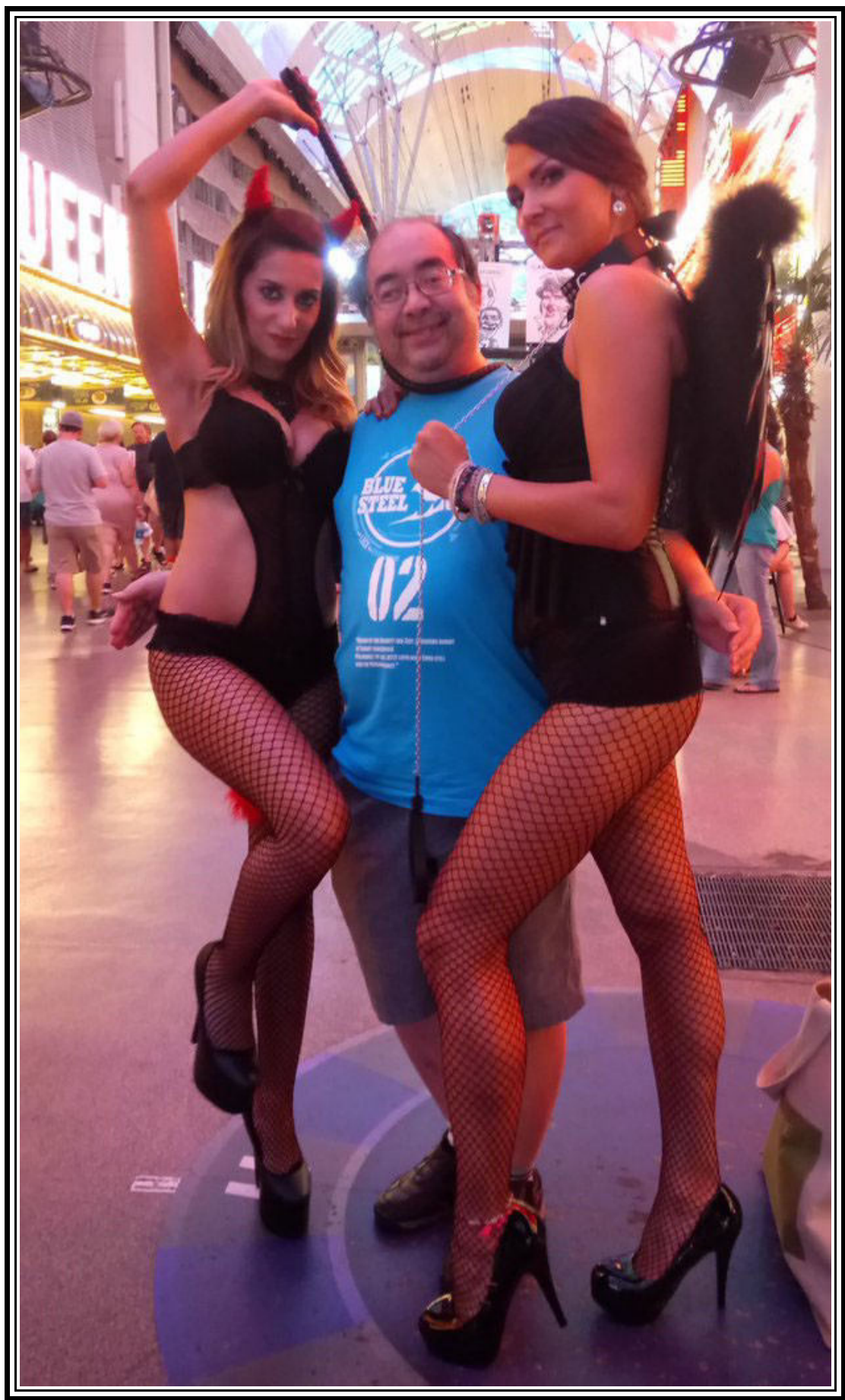


GP ラスベガス 2017

参加記



2017/6/14 (水) -2017/6/18 (日)
Las Vegas Convention Center



フリーモントでラスベガスの「けものフレンズ」と記念撮影

目次

[この本について](#)

[GP ラスベガス 2017 について](#)

[参加を決め航空券と宿を購入](#)

[参加パッケージとその申し込み](#)

[一時帰国](#)

2017 年 6 月 13 日(火)

[楽しいラスベガスへ出発](#)

[機内の夜](#)

2017 年 6 月 13 日(火)

[機内の朝](#)

[SFO で乗り継ぎ](#)

[ラスベガスに到着](#)

[Westgate ホテルにチェックイン](#)

[まずはフーターズで夕食](#)

[ラスベガスの看板（夜景）を観に行く](#)

[買い物をしてホテルに戻る](#)

2017 年 6 月 14 日(水)

[GP ラスベガス あわや不参加](#)

[バフェイで朝食](#)

[会場入りするも、しばらくヒマ](#)

[アモンケット ドラフト](#)

[モダンマスターズ 2017 ドラフト](#)

[Foiled Again シールド（水曜の部）](#)

[夕食はスタバ](#)

3

2017 年 6 月 15 日(木)

3

[GP ラスベガス レガシー](#) 24

3

[自分はいったん部屋に戻る](#) 24

4

[会場のアレコレを確認](#) 25

7

[プレイマットにサインを集める](#) 26

[GP ラスベガス レガシー 本戦](#) 28

[本戦の合間に色々](#) 29

8

[Foiled Again シールド（木曜の部）](#) 30

9

[メガ・リバウンド（レガシー）](#) 31

[ワイヤレスマウスの電池が切れる](#) 32

[メガ・リバウンドのプライズ設計](#) 33

10

10

2017 年 6 月 16 日(金)

11

[GP ラスベガス リミテッド](#) 35

12

[朝食はバフェイ](#) 36

13

[メイド娘さんとのひととき](#) 36

14

[GP ラスベガス リミテッド 構築開始](#) 37

15

[GP ラスベガス リミテッド 本戦](#) 38

[夕食にバーベキューバーガー](#) 41

[メガ・リバウンド（リミテッド）](#) 41

16

[VIP ディナー](#) 45

16

[近所の AM/PM へ](#) 46

18

19

2017 年 6 月 17 日(土)

20

[GP ラスベガス モダン](#) 48

22

[GP ラスベガス モダン 本戦](#) 48

22

[マッド・オニオンで夕食](#) 51

[フーターズのカジノ](#)

[ホテルに戻って寝る](#)

2017年6月18日(日)

[PTQ シールドの朝](#)

[PTQ シールド構築開始](#)

[PTQ の合間にあれこれ](#)

[最後のプライズ変換](#)

[ホテルの部屋に戻る](#)

[フリーモントへ](#)

[Slotzilla で遊ぶことを検討](#)

[ダウンタウンのカジノ \(1 軒目\)](#)

[カジノ \(2 軒目\) と夕食](#)

[えっちなコスプレ娘とカウガール \(カジノ 3 軒目\)](#)

[深夜の高いタクシー](#)

52

2017年6月19日(月)

53

[移動日](#)

64

[空港へ](#)

64

[52 番ゲート前で朝食](#)

65

54

[こんなところで QJ](#)

66

55

[ラスベガスからロサンゼルスへ](#)

66

57

58

2017年6月20日(火)

58

[帰国日](#)

67

59

[機内映画を楽しみつつ朝食](#)

67

60

[帰国そして出国](#)

68

60

61

61

62



有名な「Welcome to LAS VEGAS の看板」を 3 度目のラスベガスで初撮影 (6 月 13 日)

この本について

本書は2017年6月14日（水）～18（日）にかけて米国ラスベガスのLas Vegas Convension Centerで開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ（GP ラスベガス 2017）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。現地の金額表記は原則として通貨のドル（米ドル）で行いました。為替レートでは1ドル112-115円くらいだったようです。体感的には120円。

GP ラスベガス 2017 について

GP（Grand Prix; グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。GP ラスベガス 2017（※1）は米国のラスベガスで2017年に開催された大会ということになります。Channel Fireball（※2）が主催し、会場はLas Vegas Convension Center（※3）でした。

※1 <http://grandprixvegas.com/>

※2 <http://www.channelfireball.com/>

※3 <http://www.lvcva.com/>

参加を決め航空券と宿を購入

基本的に筆者は、近場（※1）の海外のリミテッド（※2）GPにはお金や有休に余裕があれば参加することをパターンにしておりますが、GP ラスベガスについては、4年前の

GP ラスベガス 2013 があまりにも楽しかったため（現在も続く海外 GP への参加と同人誌の作成は、この GP ラスベガス 2013 から始まりました）基本的には**別腹**。実際に、GP ラスベガス 2015 にも参加して、今回も 2016 年秋に GP ラスベガス 2017 の日程が発表されるなり「どうすれば参加できるか」を念頭にすべての計画を立てていました。

そして今回の GP ラスベガス 2017 は 3 つのフォーマットの**3 つの GP の同時開催**という大馬鹿なこと(褒め言葉) をやる以上、行くからには全部に参加すべきでしょう。従って開催期間 5 日、移動を含めればまるまる 1 週間は会社を休む必要があります。

筆者は年明けから某社に就職しておりましたが、試用期間中の 2 月に「GP ブリスベン」に参加し、この時は会社を 3 日休んだうえオーストラリアから必要な現場への指示なども出して、どうやら「ほら休んでも問題ないでしょ」ということを全力で示せたようであることを見定め、上司筋に 6 月に一週間ラスベガスに行くことを伝えたと、3 月 20 日にエクスペディアでぼちりました。旅費とホテル代と旅行保険を合わせて 186,513 円です。ちーん！ ホテルについては「会場が 2015 年と同じ Las Vegas Convention Center である以上は Westgate(※3)一択」であるため、適切な航空券を選ぶだけの作業でした。

※ 1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の低い所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。

※ 2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。でしたが最近構築もそう悪くないなとも。

※ 3 <https://www.westgateresorts.com/hotels/nevada/las-vegas/westgate-las-vegas-resort-casino/>

参加パッケージとその申し込み

GP ラスベガス 2017 は「レガシー」「リミテッド」「モダン」の 3 つのフォーマットの GP を同時開催するという、過去に例のない試みでした。このため基本はこうなります。

6/15（木）～6/16（金）	GP ラスベガス（レガシー）	参加費 \$90
6/16（金）～6/17（土）	GP ラスベガス（リミテッド）	参加費 \$90
6/17（土）～6/18（日）	GP ラスベガス（モダン）	参加費 \$90
それぞれの GP に、以下のものがつきます ・ 対応する GP の本戦参加権およびスリープイン ・ それぞれの GP の本戦プレイマット（3 つの GP それぞれで絵違いのもの） ・ 大祖始の GP プロモ ・ Channel Fireball のデッキケース・ライフメモ・ペンのセット		

それぞれ日程がかぶっているのは、GP2 日目は初日に 6 勝 3 敗以上の成績を残さないと参加できないためであり、申し込んだすべての人が参加できるものではないからです。2 日目に進めなかった人でも 1 日空いてしまうというようなことがなくなるわけです。ただしこの結果として「次の GP に申し込んでいたけれど前の GP が 2 日目に通ったので次の GP はキャンセル（返金あり）」することは可能になっております。何にせよそれぞれ違うプレイマットがつく以上、自分はずっと全部を申し込み（笑）。

しかしこんな催し物である以上「どうせなら 3 つ全部参加したいね」と考えるのも自然なことであるため「グランプリ・マスター・パッケージ」なるものが設定されています。

グランプリ・ マスター・ パッケージ \$320	・ GP ラスベガス（レガシー）（\$90）で得られるものすべて ・ GP ラスベガス（リミテッド）（\$90）で得られるものすべて ・ GP ラスベガス（モダン）（\$90）で得られるものすべて ・ Mark Pool の Ancestral Recall のプレイマット ・ モダンマスタース 2015 かモダンマスタース 2017 の 1 パック ・ レガシー・メガリバウンド（6/15 \$100）への参加権 ・ リミテッド・メガリバウンド（6/16 \$100）への参加権 ・ モダン・メガリバウンド（6/17 \$100）への参加権
---	---

このグランプリ本戦の「参加費\$90」は、実のところ当初は「4/1 までの早割価格」であり本来の参加費は\$100 だったようなのですが、どうも 4/1 の時点で参加者が各千人ほどしか居なかったためか(定員は 3500 人)、結局は最後までこの参加費でした。

このパッケージは「初日通過で参加しなかった GP をキャンセルしても返金しません」という制約こそあるものの参加費は 3 つの GP を合わせたより\$50 高いだけ。

この時点では「メガリバウンド」に価値は特に認めていなかったものの(後述するように、実はかなりいい)、別のプレイマット 1 枚とモダマス 1 パックで\$50 のお値打ちは見てもいいし面倒がなくていいやということで、思いなおして先にいったん申し込んだ 3 つをキャンセルしたうえでこのマスター・パッケージを購入することにしました(伏線)。

そして当然のことながら、GP にはつきものの「VIP」サービスがあります。もともと VIP サービスというものも 4 年前の GP ラスベガス 2013 で始まったもの(GP ラスベガス 2013 本参照)であり、当然ながら今回もあります。しかも 2 段階に。

今回は本戦が変則的なこともあって、VIP は本戦とは独立して購入できるものでした。

VIP \$100	・ Mark Pool の Ancestral Recall のプレイマット ・ VIP ラウンジの使用権 ・ サイドイベントの VIP 優先列 ・ サイドイベントに申し込むたび、ChannelFireBall スリーブ 1 個 ・ ChannelFireBall 水筒 ・ ChannelFireBall 紐バッグ ・ ChannelFireBall デッキケース
Diamond VIP \$200	・ 紐バッグ以外の、VIP で得られるものすべて ・ Channel Fireball の布バッグ ・ Cannel Fireball T シャツ ・ VIP スカイラウンジの使用権 ・ アーティストや招待客も来るパーティーへの参加権 ・ 本戦 VIP 席

過去の例から、この手のものは金を払わないで後悔するよりは**金を払って後悔する**のが基本であると考えているため、自分は躊躇せず Diamond VIP にエントリー。

これで確定的に参加費\$520。さらに日曜日のPTQシールド(\$75)に申し込んだり、その他のサイドイベント（モダンマスターズ 2017 ドラフト\$40 や、Foiled Again シールド\$30 など）にも特に水曜日などは積極的に参加する予定でしたので、どうやら参加費だけで\$1000 近くになりそうでした。

さらに1週間の滞在中の遊行費（カジノ含む）を考えると、どうやらこのGP ラスベガス 2017 は、総予算は40万円ほどは見込んだほうが良いイベントのようでした。

一時帰国

もとより GP ラスベガス 2017 にはフル参加の予定であった自分ですが、GW 明けからミャンマーに赴任していたため、これは「一時帰国のついで」の形を取ることにしました。2か月に一度は「薬を買いに日本に戻る」必要があるのを利用してのことです。とはいえ、なかなかせわしない一時帰国ではあったのですが、これは本書には関係ありませんので簡単に流します。

6/9（金）	ミャンマーを早朝に出て日本に帰国（日本到着は22時）
6/10（土）	新宿で開催されたジャッジカンファレンスに参加
6/11（日）	彦根に 日帰り出張 。自分でも変な声が出るスケジュールでした。
6/12（月）	2か月分の薬を買って、東京オフィスに顔を出して、歯医者。
6/13（火）	休暇開始。たのしいラスベガスに向けて出発。

2017年6月13日（火） 楽しいラスベガスへ出発

17時10分成田発ユナイテッド838でラスベガスに発つので、13時38分に新小岩発のエアポート成田に乗るべく正午昼飯の予定のところを、女房が予想より早く11時過ぎに昼飯を出してくれたので、もう1時間早い奴に乗れると気がついたので出る。

正午過ぎにスーツケースを引いて家を出て、タクシーが拾えずそのまま駅まで歩き、乗車。

いささかエアポート成田が遅延したり総武線が止まったりしたものの、14時にはゆるり成田空港に到着。問題ない。

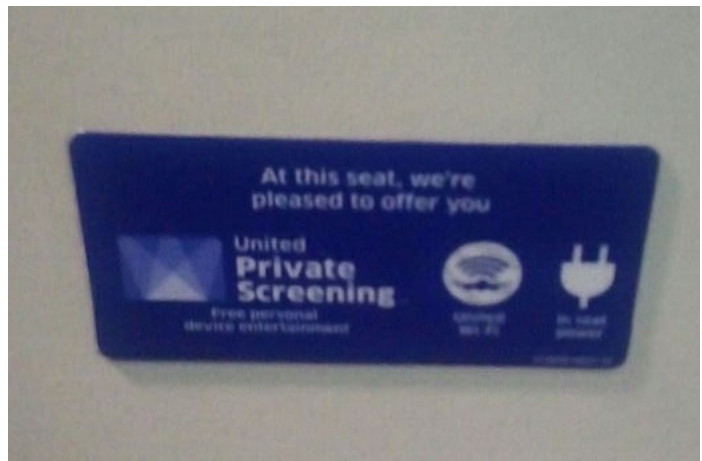
まずはチェックイン。できればスーツケースはラスベガスまで直送して欲しかったのだが、いったんSFO（サンフランシスコ国際空港）で受け取って再度乗り継ぎ便の搭乗の際に預ける必要があるらしい。ちえっ。

20分ほどでチェックインとセキュリティとイミグレを通過して、ゲート前に到着。あと3時間ほどあるのでPC電源と椅子のあるゾーンを探し、ほどなく発見。PCに充電しつつだらだらとネットなど（仕事の確認も少々）。たぶんユナイテッドは座席にコンセントはあると思うがどうかな。

16時過ぎ。PCは落として荷物に入れゆるゆるとゲート前に移動。スマホをいじって暇をつぶす。16時半頃に搭乗開始されるが、急ぐ必要はないのでゆるゆる搭乗。

機内の席にはスクリーンがなく、映画などの各種サービスはユナイテッドのアプリをダウンロードしてそれで視聴しろという趣向らしい。とりあえず、慌ててアプリをダウンロードするも、うーん、なんかいまいち。

通信を切り、定刻通りに出発。



機内の夜

18 時、水平飛行に移る。スナックと飲み物が配られた。

隣席が空席だったので 2 席をゆるゆると使う。発見しにくかった座席の下のコンセントを探し当てて、接続して PC を起動。オフラインでいささかの仕事など。

追い風でフライトが 1 時間早まるらしい。いいね！

18 時 45 分に、夕食のチキン。おいしいじゃないですか。

19 時 15 分、デザートアイスと水とコーヒーなどをいただく。LCC ではないので基本飲み物は貰い放題。



離陸前にダウンロードした United アプリを起動して映画でも観ようとも思ったものの、なかなかうまくいかない。リトライして何とか再生できる状態になったものの、目当ての「ドリーム」は案内では「日本語あり」と書いてあったものの実際の配信は英語版のみのようで、がっかり。寝よう。

23 時。外が明るい。もう朝だからなあ。日付変更線を東にまたいだので、時計が 16 時間戻りまだ正確には「今朝」。現地時間では朝の 7 時。

2017年6月13日（火） 機内の朝

0時15分、機内の照明がつく。

「朝食」が配られ始めた。

朝食はチーズオムレツ。

うんおいしいですもぐもぐ。

美味かった。朝の薬も飲む。



朝食を終えると、あと1時間そこ

そこになったので時計を米国

時間に設定。すなわち今は火曜の朝の9時前。（ここからは米国時間で記します）。

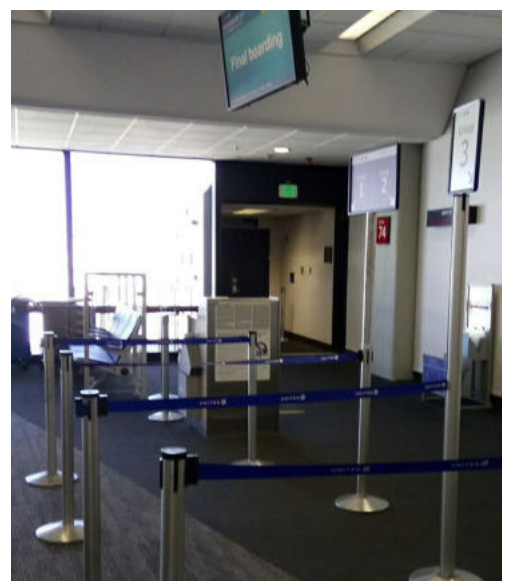
そして何ごともなく、9時50分にSFOに着陸。

SFOで乗り継ぎ

SFOではゲートがまだ塞がっているとアナウンスがあり、少々待たされるも問題はなくイミグレを通過したうえで、まずはスーツケースを回収してからUA492の搭乗手続きに入る。

案内に従って空港内を移動し、再度スーツケースを乗り継ぎ便への通路上で待ち構えていた係員に渡してからセキュリティを通過し、11時過ぎに78番ゲートに到着。

まだ12時40分の出発に1時間半ほどあることからゲートは開いていないので、時間を潰す。



まずは米国内で一週間有効なキャリアのSIMカードを買うかな…と思ったらここでは

SIMカードが売っていないと聞いて驚く。えー？なんでー？

まあ空港 Wifi がそこそこ使える品質なので当面は困らないが。グラブルもできた。

こんな時間（日本時間 4 時 20 分）でもイベントマルチが一瞬で終わるのに笑う。

日本で作った手持ちの\$200 では明らかに今後足りないので、ATM で上限\$400 をおろす。手数料が\$6 もかかったが、ちかたないね（キャッシング前倒し返済ができない利息も）。

12 時を回る頃に搭乗し、何事もなく UA492 は出発。

ラスベガスに到着

もとより SFO から LAS（ラスベガス マッカラン空港）までのフライトは 90 分ほどであり、14 時半に到着。

ウェルカムゲートを通過してから、地下鉄でターミナルを移動して荷物受取所へ。これもほどなく回収成功。ここまでは順調だった。



ではSIMを買って同じ頃に到着している筈の白木原さんと連絡をつけるか…と思うも、やはりここにも「SIM ショップ」のようなものは存在しない。コンビニでSIMを売っていたものの\$20と\$80の使い放題があるが、店員に聞いてもまるで分らないようであり、うーん…の感。結局は、自動販売機で\$20のSIMを買い、さらに自分でやってみようまいかなかったのがヒマそうにしていた両替所の黒人に聞いて設定して貰い、通信に成功。メッセージでアラジンさんに到着を伝えて、予定通りにホテルのロビーで落ち合うことを連絡するが、その後、なぜか通信ができなくなった。

結局、このカードは最初に少しつながったものの、とうとう残りの滞在中にはまともにつながらなかった。二度とこのメーカーの奴は買わん。

Westgate ホテルにチェックイン

タクシー乗り場に移動し、Westgate ホテルまで移動。\$30。やがて到着。

16 時過ぎにロビー。すでに到着していたアラジンさん白木原さん、よこくるさんと合流。アラジンさんと白木原さんのパスポートを預かってチェックイン手続き。



Westgate ホテルは自分が予約し 3 人で泊まることにしていたものの、事前確認では「ベッド 3 つは入れられない」ということであり 1 人はソファで寝る予定だったのだが、フロントが「追加料金\$10 で大きい部屋にアップグレードでき、そこなら追加ベッドが入れられる」とオファーしてきた。念のため 2 人を呼んで確認し、そちらにチェンジ。さらにバフェイ 2 名の食事券を 6 枚受け取った。追加ベッドは 30 分くらいで入るということで、ともあれキーを受け取って部屋に入ってそのまま待つことにした。部屋は 17 階の 17126 号室。

今回のカードキー。このショーを推していた感じ。正直どうでもいい。

部屋に入り、ホテル Wifi がつながりネットができることを確認したり、ベッドの搬入を確認しているうちに 17 時を回った。

なお、追加ベッドはやはりスプリングやマットのふかふか感なども劣るため、3 人の誰がこれを利用しいくらディスカウントするかを相談。3 人割の部屋代を\$10 安くすることにして、他の 2 人がその分の\$5 を負担することで合意し、さらに白木原さんがその条件で 6 日とも自分が寝るといので、それで決着。ほどなく判明したが各人荷物がそれなりにあるので、毎日寝るベッドを替えるなどしないほうが良く、自然、ベッドの回りに各位が自分の荷物を置くことにした。自分は PC 日記を書くことも多いので窓際の机を貰って、白木原さんは追加ベッドのある TV そばの一角とソファを占有。アラジンさんは入口に近い一角をベッドサイドテーブルと一緒に占有。

まずはフーターズで夕食

今夜の予定を決める。まず自分が土産のため「M&M ストア」には行くことを主張。またアラジンさんの「ラスベガスの看板」の夜の部に行くというプランに便乗。いずれにせよ南側に向かうので、やはり夕食をフーターズの「マッド・オニオン」で取ることに。日没は 20 時だし M&M は深夜までやっているし全員腹がそこそこ減っていることから、まずは夕食にすることにする。

よこくるさんとも連絡を取りロビーで合流。

まずは MGM 駅までモノレールだろうか、と思ったものの「バス 1 日乗り放題\$8」の交通カードの存在を教えて貰ったので、そうすることに。



ホテルを出て大通りのバス停に徒歩で移動し、自販機でカードを買う。

ほどなく来たバスに乗り、Excalibur 駅まで乗り、徒歩でフーターズカジノホテルへ。
ではマッド・オニオンへ…と思ったら「今日は閉店」とのこと。あらま。
仕方ないのでフーターズに入店し、思い思いのものを注文して適当にシェア。満腹。



会計はたぶんチップ込みで1人\$30 くらいだったと思うが忘れた。
フーターズホテルといえばカジノだが、今夜はおあずけ。多分また来れる。

ラスベガスの看板（夜景）を観に行く

ゆるゆる食事をして20時。そろそろ薄暗くなってきた。では今夜のもう1つのスポットである「ラスベガスの看板」を観に行くことに。1度は観たいと思っていたんだよね。
ラスベガスに「DEUCE」と「SDX」の2本あるバス路線のうち、「Welcome to LV Sign」駅までこの時間に行くのはDEUCEのみということで、まずは「Mandalay Bay」駅までSDXで移動して、そこでDEUCEを待つことになった。

…のだが、いつまで待っても15分に1本の筈のDEUCEが来ない。我々をあざ笑うかの
ようにここで折り返すSDXが3本4本と到着するも、DEUCEが来ない。

1時間近く待っていい加減に痺れを切らしたので、目的の「Welcome to LV Sign」駅は
「Mandalay Bay」駅の隣駅で距離は1.5kmほどであることから「もういい歩こう！」
ということで全員が南に歩き出す。「こういう時は、だいたい歩き出した後でバスが来て

俺たちを追い抜いていくパターンなんだよな」と思ったら案の定で、そうなった。しかも続けて**3台の DEUCE** が我々を追い抜いていった。うん1時間待ってこなかったんだから3台来なかったのは計算に合ってるよね…じゃねーよ。さすがに脱力。しばらく歩いて「ラスベガスの看板」にたどり着く。



思ったより小さいね…と思いつつ写真を撮るが、ほどなく「看板」と「自分」との双方を同時に綺麗に撮るのは不可能であると判明。看板に露出を合わせれば自分が真っ黒になり、自分に露出を合わせれば看板が真っ白。この写真を表紙に使うのは諦める（P.2 も参照）。

買い物をしてホテルに戻る

看板を撮影したのち、バスをしばらく待ってからシティに戻ると22時。M&Mで土産のチョコ刻印を行い、さらにスーパーで土産などを買ってからタクシーでホテルに戻る。

シャワーを交代で浴びると日付が変わる頃になった。時差ボケもあるし、今日はこのままおとなしく眠ることにする。なんと言っても明日から**5日間耐久マジック**なのだ。

2017年6月14日（水） GP ラスベガス あわや不参加

5時に目が覚めた。時差ボケだが仕方がないね。

昨日あたりから公開されていた公式サイト上の「本戦名簿」に**自分の名前がない**ので昨夜 Channel に「本戦に自分の名前がないのだが」と問い合わせていたものに「だってお前グランプリ・マスター・パッケージに入金してないじゃん」という返事が来る。

えっ！？と思いながら Paypal の履歴を調べると、どうやら事実はその通りであった模様。つまりいったん GP 本戦 3 つに申し込んだ後で「グランプリ・マスター・パッケージ」に申し込むためにこれをいったんキャンセルした後に、なぜかそのまま申し込まない状態であった模様（P.5 参照）。**あつぶねえええ！**

幸いにしてまだ定員に余裕があったのでその場でサイトから「グランプリ・マスター・パッケージ」を購入しことなきを得たのだが、これが日本の GP のように「売り切れ」がある状態だったら、はるばるラスベガスくんだりまで来てから本戦には参加できない状態になるところでした。

まあ仮にそうなら、おそらくは過去の 20 ブロックのドラフトを行うという History of Draft に参加していたと思うのですが（笑）。

あるいはこの名簿をチェックしておらずに明日のレガシー本戦に参加しようとしてから「あれ？名前がない？」と事実気がついた可能性はあります。まあその場合には、残る 2 つの GP には参加できるでしょうけど、盛り下がることは間違いない所でした。なお、はま屋さんも同様にあわやラスベガスまで来て本戦不参加になりかけた模様。

バフエイで朝食

6時半を回って、別室を借りたよこくるさんを含めて全員起きたようなので、それではと

朝食のバフェイに行くことにする。

Westgate の朝食バフェイは前回たっちーと試したところ「\$18 ならこんなものだろうが他のバフェイと比較してイマイチ」の感があり、実際、次からはサンドイッチで済ませた（GP ラスベガス 2015 本参照）のですが、今回なぜか「朝食バフェイ 2 名券」が 6 枚チェックイン時に渡されたのでした（もちろん料金は宿泊代に入っているのでしょう）。よこくるさんの宿泊プランにはこの券はついてなかったようなので、それでは 4 人で木金土の 3 日で使い切ろうということにしたのでした。よこくるさんにはあとで料金を精算。

そして 4 人で入場し案内された席についてバフェイで食物を漁った…のだが、うーん、やっぱりイマイチだよなあ。パンは甘い菓子パンの様な物ばかりで、クロワッサンがない。野菜もない。まあベーコンや肉やら玉子は問題なくおいしいんだけど。



さらにアラジンさんが、オムレツを

頼んだ中国人のコックの**なめた対応**に不満を漏らす軽いジャブ。

まあ本当にちょっとした食事だけでも軽く \$10 を超えるベガス基準で言えば \$18 で曲がりなりにも腹いっぱい食べられてオレンジジュース（買うと 1 本 \$4）も飲み放題は一応はコスパは悪くないんだけど、他のホテルのバフェイと比べちゃうとどうしてもね…。

せめてこの中央の一等地に誰が食べる気になるのか不明なお菓子やケーキ類を並べるのは止めてくれないかな Westgate。あとクロワッサンとか甘くないパンが欲しい。

とはいうものの券はあと延べ 8 人（2 日）ぶんあるし、GP 前の朝の貴重な時間に他所に出かけることも考えられないので、まあ明日と明後日はここになるだろうなあ…。

会場入りするも、しばらくヒマ

GP ラスベガス初日の今日は、サイトを見る限り「10 時開場」と書いてあるのだが、主催から Diamond VIP に送られてきたメールに「9 時から入場可能」と書いてある。白木原さんにはそのようなメールは届いていないようであり、2 年前は初日の開場前にホールに人が溢れていたのも、あるいはこれは VIP の先行入場特典なのかな？と考えて、アラジンさんと自分は白木原さんを残して先に部屋を出て会場へ。

歩いて 10 分もかからず会場に到着（やはりこの近さは何よりも捨てがたい）。到着して分かったのは、今日は本戦ホールは使えず N109-N114 ブロック（P.23 参照）のみ使用可能であること、受付時に VIP チェックなどはやっておらずこの開場の情報を持っている人間は誰でもサイドイベントにエントリーできることなどだった。

ちょっと公平性が引かかる措置だったと思う。



それはそれとして、すでに 2BYE を得ている自分は LCT を狙う必要はないので、さっそく LCT シールドに登録したアラジンさんを横目に、モダマスドラフトにエントリーしよう…としたら「フライトイベントの受付は 10 時まで待て」と言われる。仕方ないのでバイヤーブースでデッキに入れる予定のお値頃シングルを買ったりして時間を潰す。

そうこうするうち 10 時になったので「モダマス 2017 ドラフトを」と言うと「11 時まで待て」と言われる。えー。この際だからフライトでなく「モダンマスタースシールド」もいいかと思ったら 12 時半開始のこのイベントの受け付けは 11 時半からだった。

…うーん、早起きして勇んで入場した意味がほとんどなかったよ orz

あとでサイトを確認したら、確かに水曜日に限りフライトは 11 時からと書いてあった。ちかたないね。

アモンケット ドラフト

11 時になるなり三度目の正直でサイドイベントの受付に向かって、ドラフトにエントリー。

今日は夕方まで 1 日モダンマスターズ 2017 のドラフトをやるつもりだったものの、見るとモダンマスターズ 2017 への受付は 1 人(自分だけ)、アモンケットのドラフトは 5 人目だったので、これ以上は待ちたくなかったので \$20 払ってアモンケットのドラフトにエントリー。

エントリーするとブザーを手渡された。これが鳴ったら集合場所に集まれということか。これはいい。8 人が揃うまでただ待っている必要もないし、会場内でのマイクのアナウンスに耳を傾ける必要もない。是非今後の標準になって欲しいなこれは。



ほどなく 8 人揃い、向かいの部屋に移動してドラフト開始。この速さならあるいはモダンマスターズ 2017 でも良かったのかもしれないな。

1-1 《神託者の大聖堂》。まあフリースペルは、はまると強い。白を中心に、2 色目を緑にするか黒にするかを考えつつピックを続ける。

2-1 **マスターピース**の《不屈の神口ナス》キター。もちろん即取りして、2 色目を緑に決定。以後は白緑で決め打ち。

なお《神託者の大聖堂》は流れてきたのを拾って 2 枚になるも、2 枚は入らないし使って分かる弱さ（笑）。

マスターピース《不屈の神口ナス》
《エイヴンの思考検閲者》
《枕戈+待旦》
《神託者の大聖堂》* 2

獲得レア

Round1 Rob さん 白青 xOO

回って勝ち。

Creatures: 19

《扇持ち》	《頭巾の喧嘩屋》
《突風歩き》	《気性の荒いクーズー》* 3
《療治の侍臣》	《不屈の神ロナス》
《ナーガの生气論者》	《用心深いナーガ》
《エイヴンの思考検閲者》	《採石場の運び屋》* 2
《献身的な門友》	《補給の隊商》
《仕える者たち》* 2	《双陽の熾天使》
《猶予の侍臣》	

Spells: 5

《デジエルの決意》
 《弱さからの脱皮》
 《絶妙なタイミング》
 《枕戈+待旦》
 《神託者の大聖堂》

Lands: 16

《平地》* 8
 《森》* 8

構築デッキ

Round2 Tysonさん 赤緑 xOO

G1 負け

G2 緑の神様が出て無双する。

G3 破壊不能の飛行 4/4 が出て勝ち。

Round3 Chrisさん スプリット (勝ち)

スプリットが成立。勝ち点は譲って貰いました。

結果 3-0。を、幸先いいですね。

モダンマスタース 2017 ドラフト

最初のドラフトを終えると 13 時過ぎでした。お腹もすいていないので、ただちに今度はモダンマスタース 2017 に \$40 払ってエントリーし、こちらもほどなく立ちました。

1-1 《バジリスクの首輪》。

あとはトークンのシナジーのアンコモンを適当にピックアップしつつ、レアも拾う。ただし高いというほどのレアなし。

《バジリスクの首輪》
《墓掘りの檻》
《紅蓮術士の昇天》
《降霊術》
《原初の命令》

獲得レア

Creatures: 14	Spells: 10	Lands: 16
《アヴァシンの巡礼者》* 2	《バジリスクの首輪》	《グルールのギルド門》* 2
《ドラゴンの餌》	《無形の美德》	《セレズニアのギルド門》
《ぼろ布食いの魔女》	《向こう見ずな技術》	《平地》* 2
《ハンウィアーの槍兵》	《鉄の樹の拳》	《山》* 6
《泥デコの松明走り》	《地上の突撃》	《森》* 5
《薪荒れのシャーマン》	《ゴブリンの突撃》	
《飢えたスプリガン》	《アラクナスの蜘蛛の巣》	
《殺戮角》* 2	《ガイアの頌歌》	《平地》* 8
《巨人釣り》* 2	《裏切りの本能》	《森》* 8
《戦装飾のシャーマン》	《原初の命令》	
《スライム成形》		

構築デッキ

Round1 Froyさん 白青黒 ×○○

回って勝ち

Round2 Ericさん 黒赤 ○×○

割と無双して勝ち

Round3 スプリット (勝ち)

スプリットが成立。勝ち点は貰いました。

を、またしても結果 3-0。幸先いいね。

Foiled Again シールド（水曜の部）

ドラフト2回の3-0に気を良くするも、16時を回ったので17時からのFoiled Again シールドに\$30を払ってエントリーする。

プロモフォイルは本当にどうでもいいものの、このイベントは翌日の本戦プレイマットが貰える趣向のため、これでシールド1回ならお得なので参加（勝てばチケットも）。

待ち時間にVIPの受付をしたり、明日のレガシー本戦のためのデッキリストを提出したりしつつ、17時になったので案内に従って構築開始。

まずはレアチェック…あかんやろこれ。

これでは厳しいなあと思いつつ、赤黒ミノタウロスで組む。

《選定された行進》
《秘法の管理者》
《イフニルの魔神》
《戦慄の放浪者》
《蓋世の英雄、ネヘブ》
《神託者の大聖堂》

獲得レア

Round1 サリアさん 黒緑 Oxx

Round2 マルコさん 白青 xOx

Round3 アレックスさん 黒緑 xx

…orz すでに結構眠かったとはいえ、ひどい。

まだ21時前だったので、もう1回ドラフトにエントリーすることは可能だったものの、とりあえず明日のレガシーGPに向けて全力投球すべく会場を離脱。ていうか、さすがにこのコンディション（眠い）では、明日を考えればそこまで遊ぶのは無謀。先は長い。

夕食はスタバ

会場を離脱して施設内のスタバに寄って、夕食を買う。コーヒーとクロワッサン。あとは

コンビニでポテチの大袋。

クロワッサン\$5、コーヒー\$4.5、
税込みで\$10 オーバー。

PCを起動して日記をまとめながら
もぐもぐ。まあおいしいんだけど、
軽食でもこのくらいかかるのは許容
するしかない。



日付が変わる頃に日記を書き終えたので、シャワーを浴びて寝ることにする。



水曜も開いていた N109-N114 ホール（左上）と、木曜から本戦で使用される C3/C4
ホールの位置関係。このNブロックは木曜以降も、サイドイベント等で使用されました
（写真は金曜日リミテッド GP のスリープイン構築の案内図です）。

2017年6月15日（木） GP ラスベガス レガシー

5時に目が覚めてしまったので、だらだらネットなど。

6時半に支度を始め7時から朝食のバフェイ…のつもりだったのだが、よこくるさんにDMで呼びかけても反応がない。7時15分に部屋に電話をすると、やはり寝ていた。7時半に待ち合わせることにする。どのみち本戦9時は余裕だ。

WestGateのバフェイはやっぱり

「もうちょっと何とかならんのかな」と思える内容。ベガスの物価的には\$19ならお値打ちの価格なんだけど「2000円越え」とかちらついちゃうとねえ。

もう少し幸福感が欲しい。

まあ、それでも腹に詰め込んで飲み物も目一杯飲んだわけではあるのですが（笑）。

あ、あとヨーグルトもつけて。



自分はいったん部屋に戻る

朝食を終えると8時。

全員で9時からのGP ラスベガス（レガシー）本戦に備えてもう開いている会場へと移動したわけですが、会場の敷地に入るなり「Diamond VIP」の**パスを部屋に忘れた**

ことに気がついたので、自分だけ部屋に戻る羽目になる。あほか。

部屋に戻ってパスは回収したものの、もともと本戦 2 バイの自分は 11 時に会場に入れば良いし会場に居てもやることはそれほど無いので、1 時間ほど部屋でのんびりすることにする。これ幸いとノート PC を起動して、いささか仕事のチェックを済ませる。

ひと仕事を終わると 10 時に。そろそろ満腹の腹も落ち着いたし、昨日はサイドイベント部屋にしか入れなかったので本戦ルームはまだ覗いてないので、そろそろ出よう。

会場のアレコレを確認

本戦会場に入る。

まずは入り口から右側にある受付で「グランプリ・マスター・パッケージ」受付をしたうえで特典グッズを貰おうといういろいろ問い合わせするもどうも要領を得ない。いったん去る。



VIP ラウンジは右手の奥にあることが

判明したので、そこからアーティストブースの中を通過して入ってみる。ふむ。

Diamond VIP 専用の「スカイラウンジ」は、2 年前の時は会場から遠くて「使えねえ」シロモノだったのですが、今回は VIP ラウンジの横のエレベーターを使って 1 F から 3F まで行くだけで一瞬でたどりつけます。を、これは良い良い。

もっとも会場を見下ろせるだけで、たいした設備はありませんけど…コーヒーコーナーのスタッフに「ミルク」を所望して飲めたのは幸いだったかな。

さらに本戦会場に移動して、VIP 席と VIP ペアリングの位置を確認する。

さらに青コーナーの本戦ジャッジ本部に「グランプリ・マスター・パッケージ」の特典のことをついでに聞くも微妙に会話が噛み合わなかったことから相手が「お前日本人？」と言ってきたので「そうだ」と答えると「日本語ができるジャッジを呼ぼう」と言ってくる。そのまま待っていると、案の定、いとりなが来た。このためわざとでかい声で手を振って「Haaaaaaaai! Japanese Speaker Judge!」と言うと周囲のジャッジがゲラゲラ笑い、いとりなが**凄く嫌な顔**をした。

そのいとりなに聞いても結局は「VIP エントリー受付で聞け」という以上の情報は得られなかったのだが（しかたないね）、結局はすったもんだのすえ「特典は 14 時過ぎに VIP エントリー受付で受け取れるという話になった。

プレイマットにサインを集める

ふと時計を見ると 10 時 50 分。プレイヤーが整然と席に着きクロックが「50:00」になっていたので「あれ？もしかしてラウンド 3 が始まる？出遅れた？」とも一瞬思うも、単にラウンド 2 がまだ始まっていないだけだった。ちょっと遅めの進行ですね。

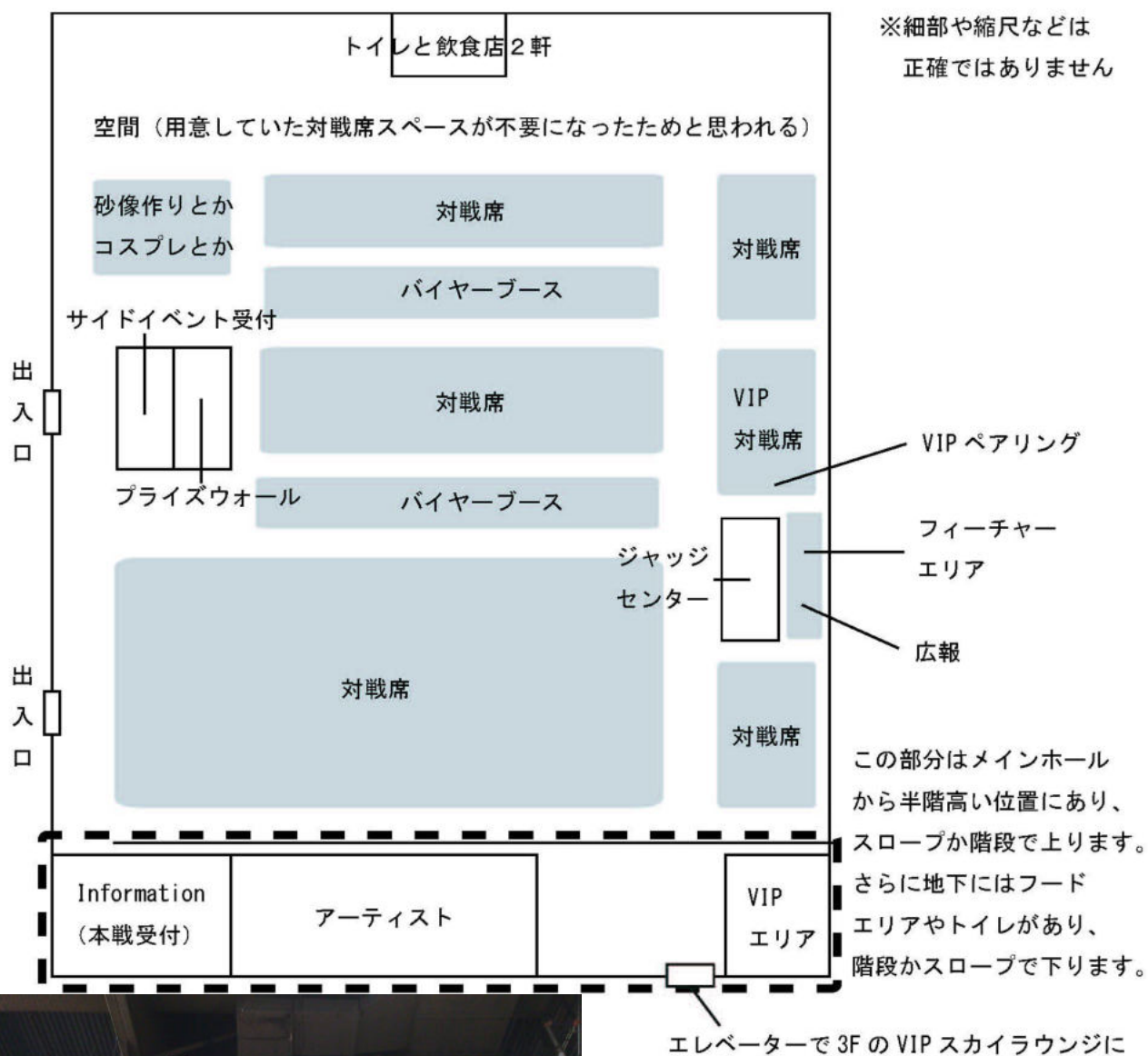
1 時間待ちが入ったので、日本から持参したウルトラプロの無地のプレイマットを手に、適当に列の短いアーティストに寄せ書きでサインして貰うことにする。小一時間で数名のサインが集まった。まあこんなものかな。

どのみち 30 名を超えるアーティスト全員のサインをコンプすることなども不可能だ。

それはそれとして、12 時を回り、そろそろラウンド 3 が始まる。

いよいよ自分の GP ラスベガス（レガシー）の開始です。

GP ラスベガス 2017 本戦会場レイアウト



VIPスカイラウンジから大勢の参加者で賑わう会場を見下ろしつつ「愚民どもめ…」とつぶやく筆者
(こういうのはみんなやるw)

撮影：Arajinさん



GP ラスベガス レガシー 本戦

レガシーはほとんど遊んでいない自分は、今回は赤単バーンで出ました。

Creatures: 14	Spells: 26	Sideboards 15
《ゴブリンの先達》* 4	《稲妻の連鎖》*4	《極上の炎技》* 4
《僧院の速槍》* 4	《火炎破》*4	《灼熱の血》*3
《洗面の溶岩使い》* 2	《火炎の裂け目》*3	《粉々》* 3
《過酷な指導者》* 4	《溶岩の撃ち込み》*4	《硫黄の渦》* 2
	《稲妻》*4	《苛立たしい小悪魔》* 3
Lands: 20	《発展の代価》*4	
《乾燥大地》*4	《裂け目の稲妻》*3	
《血染めのぬかるみ》* 2		
《山》* 14		

構築デッキ

Round1 BYE

Round2 BYE

Round3 Prost さん 緑 エルフ ××

最初のターンで相手の出したエルフ 1 匹を稲妻とかで即焼かずに本体に火力を入れ続けるという、エルフデッキを知らないプレイで、まあ普通に負け。

エルフが 2 匹 3 匹 4 匹とぱぱぱっと展開されて最速 3 ターンでベヒモスを出されて終了。待ち時間にアラジンさんにそのことを話したら「んなもん、第 1 ターンで極楽鳥を見たらただちに焼くのも同じでしょーが」と言われる。むむむ。

Round4 Helene さん 緑 エルフ ○○

またエルフか、と思いつつも今度は《死儀礼のシャーマン》とかやばそうなエルフを見るなり焼いていったら、いつの間にか勝てた。なるほど。

Round5 ichaelさん 青緑 感染 ××

オバ賛美とかは見たら即座に焼くようにしていましたが、なるほど感染クリーチャーを放置していて3回殴られるとだいたい3回目でアウト。相手にはジャイグロ系がたんまり。まあ、見たら焼かなきゃならないようです。

Round6 ロドリゴさん 青黒 ストーム O××

G1 まあ勝ち

G2 土地1枚キープしたらなかなか2枚目を引かなくてもたつてコンボ発動で負け。

G3 コンボ発動で負け。

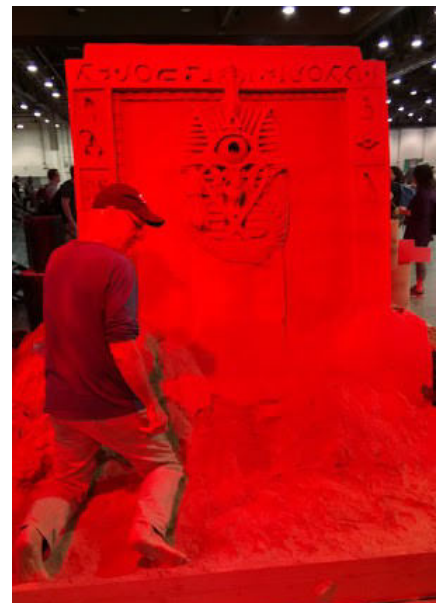
これで3-3の16時半。もともと17時からのFoiled Againシールドに出るつもりだったので、ここでドロップ。自分のGPラスベガス（レガシー）は終了です。

本戦の合間に色々

自分のデッキはバーンなので、勝っても負けても25分くらいで終わるし、全体にラウンド進行が早くないので毎回30分は時間が余ります。

このため空き時間には会場をうろうろして、コスプレの写真を撮ったり、会場の隅で何やらアーティストが砂でアートを作っているのを眺めたり、バイヤーブースでのHot Listを手持ちの高額レアと突き合わせてチェックをしたり、リストにない奴も売買したり。

今回は、いつまでも手元に持っていて仕方がない高額



レアのダブリを盛大に持ってきたので、これで数百ドルを得たりもしました。
あと今回で割とショックだったのは「買取は英語版のみ」というショップが存外多かったこと。以前は日本語版カードは日本でのロシア語版のように「高目」で買い取ってくれることが多かったのですが、最近は高くないというか安値材料になってもいたり。

Foiled Again シールド（木曜の部）

明日の本戦のプレイマットと6パックを目当てに\$30払って17時から参加。
今日は19時開始の「メガ・リバウンド（レガシー）」に出るつもりだったので勝っても負けても1回戦でドロップ。このため構築終了後に、メガ・リバウンドのエントリー。

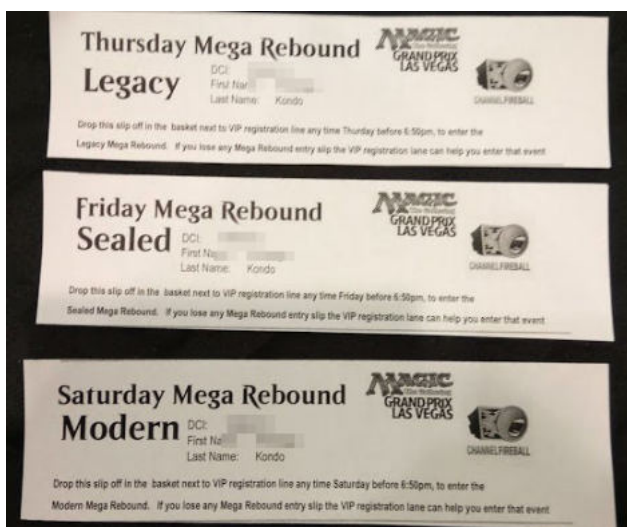
ところで今回の「グランプリ・マスター・パッケージ」では、3つのGPの参加権とともにメガ・リバウンド3つへの参加権を持ちます（P.4）。

これをどう処理するのかなー、と思ったら受付時にこのようなスリップ3枚をくれました。自分の名前とDCI番号入りであり、これを受付のボックスに放り込めばいいと

いう仕掛け。なるほどこれなら都度チェックなども不要だ。あたまいー。

まあ実際はいくら賞品がゴツイとはいえメガ・リバウンドに\$100も払って参加する人は居るのだろうかと思える設定なのですが（笑）。たぶん全員がグランプリ・マスター。

それはそれとして Foiled Again も参加する以上はどうせなら1勝したいが、どうかな。
（プロモ Foil は多分どうでもいいけど、プライズ30点とPWPの9点は欲しい）



さっそく開封…神話レアが2枚入っていてもひで一な。無理。

ハパチラを生かすべく黒緑で組んでみたけど、それだとカードが足りなくて普段ならサイドに入れるカードも入れる始末。

《暗記+記憶》
《残酷な現実》
《葬送の影》
《栄光の幕切れ》
《毒物の侍臣、ハパチラ》
《腹背+面従》

Round1 Jhonさん 青黒赤 xOx

獲得レア

G1 《栄光をもたらすもの》が出てきて終了。

G2 まあ勝てた。

G3 まあ負けた。

終了。ただちにドロップして19時からのメガ・リバウンドにエントリーする。

メガ・リバウンド（レガシー）

メガ・リバウンドは4回戦固定で、2-2以上で賞品のライン。従って0-3しない限りは、まあ最後までつきあうだろうか…それだと**終了は23時**になるけど（笑）。

他にデッキを持ってもいないので、本戦のバーンデッキでそのまま参加。

Round1 Nicolisさん 緑 暗黒の深部+演劇の舞台コンボ

G1 コンボを決められて負け

G2 こちらが殴りに行った際に、構えていた向こうがコンボを決めて20/20でブロックしてきたので、他に要素はないだろうと思いつつ本体に残り6点を叩き込んで勝ち。

G3 まあ負け。

Round2 Nickさん 青黒 ストーム xx

G1 攻めがぬるくてコンボを決められて終了。

G2 相手が名前を指定して手札を捨てさせるカードで、こちらが一度も出してもいない《大歓楽の幻霊》を指定してきたので、ああそうか、確かにアレが置ければストームは機能不全を起こすから多分勝てるよね、と思った。

Round3 Credoさん 白黒赤 O××

G1 まあ勝ち。

G2 相手が石鍛冶さんを出してきて殴打頭蓋を呼ぶ。終了。

G3 相手のライフが10、こちらの手札に稲妻とFireblastがある状態で、土地も立っている状態で相手が白力線を置いてきたので投了。

しかし投了してから気がついたのだが、力線スタックで手札の2枚を打てばとりあえず相手のライフは3になるから、あとは運よく《火炎の裂け目》を引けたら勝てたんじゃないかな…と気がつくも、どうしようもなく。こういう所で経験値が出るね。

これで賞品圏外の0-3になったので、ドロップして終了。

ワイヤレスマウスの電池が切れる

まだメガ・リバウンドで戦っているアラジンさんと白木原さんを残し自分は22時過ぎに会場を離脱し、スタバでコーヒーとクロワッサンにオレンジジュースを買って部屋に戻る。これだけで\$15以上かかっているが、値段を気にするのは止めよう。

ちなみに昼は会場のチーズドック（ジューシーでおいしいが\$5.25もする）を食べた程度なので割とはらへり。

PCを起動しつつ今日のマジック日記をまとめているうちに、ワイヤレスマウスの電池が切れた模様。このためまだ会場に居るアラジンさんに「単3電池を帰りがけにコンビニで

買ってきてくれませんか」とメッセージを送る。

マウスを使わずに日記を書き終えて、シャワーを浴びているうちに2人が戻る。

残念ながらアラジンさんは送ったメッセージを読んではいなかったのだが、電池が必要な理由としてワイヤレスマウスのことを説明すると、アラジンさんは即座に「この部屋の

（そんなに使っていない）TVのリモコンの電池を**〇〇れば**いいんじゃない？」と提案をしてきたため、瞬時にその手を思いつくアラジンさんに、白木原さんと一瞬絶句したのち爆笑する。なお、残念ながらリモコンに入っていた電池は単4だった。

メガ・リバウンドのプライズ設計

アラジンさんは今日のメガ・リバウンドで2-1-1の結果440ポイントのプライズを獲得してきた模様。10ポイントで1パックと考えても1ボックス以上か。でかいな。

メガ・リバウンドは「まあ参加費が実質無料だしね」ということで参加したのだが、実はポイントが通常のサイドイベントの4倍なので、存外おいしいイベントであることが判明。

4-0-0	2000ポイント
3-0-1	1400ポイント
3-1-0	800ポイント
2-1-1か2-0-2	440ポイント
2-2-0	80ポイント

さらに、3-0同士で4回戦を迎えた場合には、双方が「勝てば2000ポイント、負ければ800ポイント」だが、IDをすると「双方が1400ポイント」を獲得できる。

あるいは、2-1同士で4回戦を迎えた場合には、双方が「勝てば800ポイント、負ければ80ポイント」だが、IDをすると「双方が440ポイント」を獲得できる。

もちろん勝てればより多くのポイントを獲得はできるものの、IDをした場合に比べると負けた場合の「貰えなさ」が半端ではないので、つまりこれは「お前ら ID しろ」という制度設計であると思われる次第。実際に、4 回戦はほとんどすべてのプレイヤーが ID を選択して 4 回戦を戦うことなく離脱していました。まあ **23 時だし**ね。

いずれにせよ「3 回戦までで 2-1 できれば事実上の 1 ボックス以上が確定」というのは、なかなか気前の良い賞品だと言えます。まあ、~~まともに払った人が居るようには思えない~~ ~~ほど~~参加費\$100 のイベントですからね…。

半面「3 回戦までで 1-2 の結果だったら、勝てば 80 ポイントで負ければゼロ、ID でも 40 ポイント」のため、正直なところ、これはわざわざそれを目当てに残るよりも翌日のことを考えてドロップしたほうがよさげ。

ともあれ、これは明日からの残りの 2 回のメガ・リバウンドも、可能であれば参加するというスタイルで良さそうです。

今回のレガシーデッキの反省点：

今回のレガシーのデッキ (P.26) では、既存のバーンデッキのレシピを基本は完コピーしたのですが、ただ《大歓楽の幻霊》4 枚を《過酷な指導者》に入れ替えるということをやってみました。結論から言えば、たぶんコレは「失敗」でしたね。

《過酷な指導者》が有効なダメージソースになったことはあまりなくて、むしろ 7 回中 2 回も当たった「ストーム」に対しては《大歓楽の幻霊》はデッキが死ぬ勢いで刺さる (バーンに対する白力線のようなものだ) けど、《過酷な指導者》は無力。

《大歓楽の幻霊》は軽い呪文しかない自分にも刺さる…というのが《過酷な指導者》をチョイスした理由の 1 つだったのですが、やはりバーンが自分へのダメージなんて気にしても仕方がないのだという結論でした (笑)。

ともあれ、これで GP ラスベガスの 2 日目は終了しました。普通の GP であればもう残り 1 日で先が見えている頃ですが、この GP ラスベガス 2017 に関しては、まだまだ半分も終わっていないという「5 日間マジック耐久マラソン」です。

ともあれ、零時半就寝。

2017年6月16日（金） GP ラスベガス リミテッド

4時に目が覚めたので、PCを起動する。
日記用のメモ書きなど、覚えているうちにできるだけ、まだ書いていないことを書き留めておくことにする。
5時半に夜が明けてきた。



結局買ったSIMカードは最初の一瞬だけ使えた以外はまったく使えず。さすがに初期データを使い切った量とも思えない

ので、ただの不良品だったんだろう。この「SimTraveler」というメーカーはもう二度と買いたくないな。替えてもつながらないリスク込みで買い直す気も起こらなかったのも、今回は全面的にWifiを使える所で何とかするしかあるまい。会場ホール内は無理だけどホール外は使える。VIP用のホールで使えるWifiとか提供してくれないかな、とか考える。ていうか、やっぱり空港は自販機でSIMを売るだけじゃなくて、初期設定もサービスでやってくれるカウンターが欲しいですね。

他の2人はまだぐーすか中だが自分はミャンマーへの連絡（ちょうど半日ずれているのでいまは金曜の夜の報告を受けて来週への指示出し中）をしたりする。いつ寝ているのかはあまり考えない方向で（笑）。まあ昨夜は12時半に寝たから、4時間は眠れているな…。
5日間GP耐久マラソンはいよいよ**折り返し点**にさしかかります。

6時を回った。なぜか目覚ましを間違えて6時10分にかけたらしいアラジンさんが一度起きてから、また寝直した。一番寝坊できるスリープイン2バイの俺が他の皆より2時間以上も早起きしてる（笑）。

朝食はバフェイ

チェックイン時に貰った2人券6枚を使い切るために、今日もバフェイで朝食（今日で最後）。1枚で2名のため、よこくるさんと待ち合わせて下に降りたのだが、直前に待ち合わせをした



筈だったよこくるさんが来ない。このためBYEなしのアラジンさんを先に行かせるべく白木原さんと送り出してから、自分は集合場所で待つ。待ち時間潰しに「数独」でもやるかなあと横のコンビニでボールペンと本を買っているうちに、よこくるさん登場。2人でバフェイに。

…とりあえず値段分に腹を満たせるけど、加点要素がないよなあ。まあ明日はもうないな。

メイド娘さんとのひととき

9時前に朝食終了。バイなしの2人を見送ってから、いったん白木原さんと部屋に戻る。

満腹のままベッドにごろしたら**瞬時に寝落ち**。10時前に、そろそろ出るという1バイ持ちの白木原さんに起こして貰ったが、あつぶねえ。あわや寝坊でNO SHOW。

その白木原さんも見送って、自分はあと1時間。もう横になるのはやめよう。

パンツ2枚を洗面所で手揉み洗いして干す。ま、夜までには乾くでしょ。

では白木原さんも出て1人になったし、ひとつXVIDEOSを起動（笑）。やはり日本からより速いなと思いつつ鑑賞していたら**ノックの音**。やべえベッドメイクが来た（汗）慌てて（中略）してからドアを細目に開けて「すまん1時間後に頼む」と依頼してドアを

再度閉じる。ちなみに、どうせベッドメイクなんてのはデブのオバちゃんだろうと思ったのですが、部屋を訪れたのは結構かわいい黒人の若い娘でした。

これがフィクションの世界であれば、このままたちどころにエッチな展開にも持ちこめるシチュエーションなのですが、これは**げんじつなので**そういう話は別になく終了。

もう PC で何かの「作業」をするには足りない時間だし、そろそろ頃合いのようなので、朝の薬を飲んでから支度をして出る。1 時間後のベッドメイクには、あの娘が戻ってくるのかなと思いつつ、ネタ提供料としてチップを積み増して置く（謎）。

GP ラスベガス リミテッド 構築開始

10 時半に会場へ移動。バイ持ちスリープインのための構築の場所は、水曜日に使用していた小ホールだと案内があったので、移動。ホールに入るなり誘導され 32 個の椅子が並んだ通路でいったん待って、揃うなりジャッジに先導されて移動。

着席すると机の上にデッキケースが置かれ指示に従って開封。

中にはチェック済みのプールと、チェックリスト、それに「プレイマット引換券」とライフメモの一式。なるほど。



チェックリストがスタッフによる「手書き」でなく、カードを入力したプリントアウトで

あるのに驚く。進歩してるなあ。

最初にリストと実際のカードとの照合をしてから、構築開始。

まずはレアチェックから…いや、これはあかんやろ。

青に踏み切る戦力もないので、せめてレアを生かすべく赤緑で。

ただし除去火力は薄い。うん、ダメそう。

これは躊躇せずドロップして Foiled Again やメガ・リバウンドに行けそうな予感。デッキリストを提出して 11 時半に退出。

本戦エリアに移動。

《予言により》
《ドレイクの安息地》
《新たな視点》
《損魂魔道士》
《名誉あるハイドラ》
《驚天+動地》

獲得レア

Creatures: 14

《血に飢えた振起者》
《損魂魔道士》
《アンー門の壊し屋》
《好戦的な巨口》
《頭巾の喧嘩屋》* 2
《気性の荒いクーズー》
《活力の試練》
《燃えさし角のミノタウルス》
《横断地のクロコダイル》
《採石場の運び屋》
《打撃場のマンティコア》
《シェフェトのオオトカゲ》
《名誉あるハイドラ》

Spells: 10

《弱さからの脱皮》
《凶暴な力》
《投げ飛ばし》
《楽園の贈り物》
《蜘蛛の掌握》* 2
《オケチラの碑》
《感電》
《栄光の探究》
《驚天+動地》

Lands: 16

《進化する未開地》
《山》* 7
《森》* 8

構築デッキ

GP ラスベガス リミテッド 本戦

会場の本戦エリアに移動すると、もう昼。

基本は対戦が終わるなり VIP 席に座って VIP ペアリングの掲示を待ち、対戦後は時間を

見ながらショップをぶらぶらして時間を潰したりする。

さらに合間に明日のGP ラスベガス（モダン）のデッキリストを書いて提出。

小腹がすいてきたら VIP 席に作り置きしてあるポップコーンやチョコクッキーをつまむ。

空腹を紛らわせるだけなら十分だろう。



VIP 席のすぐ近くは本戦ジャッジ本部
なのだが、横にはウォーターサーバー。
そしてその横のテーブルにはなぜか
「少年サンデー」。誰だこんなの日本
から持ってきたのは（笑）。

のちに判明したのだが、持ってきたのはちえけださんだった。犯人はこの中にいる！

Round1 BYE

Round2 BYE

Round3 Michael さん 白緑 OO ほぼ 13 時開始

G1 ハイドラが順調に出て無双して勝ち。

G2 相手が先手ダブマリで、さすがにブンして勝ち。

Round4 Aaronさん 青赤 OO ほぼ 14 時開始

G1 相手のクリーチャーを《驚天+動地》で一掃したうえ1匹だけ残した《シェフェトのオオトカゲ》で無双して勝ち。

G2 回って勝ち。

を、4-0 かあ。もしかして2日目に行ける感じ?(フラグ)

Round5 Matthewさん 白黒赤緑 xx 15 時半頃開始

G1 ゾンビ軍団を順調に展開されて負け。

G2 山森の2枚で普通に手札キープしたら5ターン土地を引かずに負け。3マナあれば普通に回ったのだが、ううむ。快進撃もここまでか。

Round6 Robertさん 白黒赤 Oxx 16 時 40 分頃開始

最後は頼みの綱のハイドラを《排斥》されて負け。

これで4-2。あと3回で2勝できれば2日目進出ではあるものの、その場合に明日のGPラスベガス(モダン)をキャンセルするのか、19時からのメガ・リバウンドは不参加で済ませるのか、と考えると、やはり本戦はドロップしていいやという結論になる。とはいえ17時開始のFoiled Againシールドのエントリーは終了したし、19時まではまだ少々時間があるので、あと1ラウンド遊んでいくことにする。勝てば24点。メガ・リバウンドのエントリーに受付用紙を放り込んで、第7ラウンドへ。

Round7 Brandonさん 白青緑 xx 18 時前開始

G1 白のタッパーにいなされ続けて負け。

G2 土地ゼロでマリガンしたら土地6枚。正解はダブマリだったと思うものの「まあいいや」とそのまま続けて、やはり普通にまともな呪文を引けずに負け。

結果4-3。これで自分のGPラスベガス2017(シールド)本戦は終了しました。

夕食にバーベキューバーガー

19時まで少々時間があつたので、会場の反対側まで歩いてみると、こちらにも食事コーナーを発見。メガ・リバウンドが終わるのは23時にはなるだろうし、少しは腹にまともなものを入れておくことにした。



値段は忘れたがおそらくは\$12くらいではなかったかな。まあ、忘れたほうが幸せ。



メガ・リバウンド（リミテッド）

メガリバウンドは賞品4倍のかなりゴツいイベントですが、ルール適用度は一般なので、デッキチェックなどはありません。そして自分に配られたパックを開封して、まずはレアチェック。

《選定された行進》
《栄光をもたらすもの》
《収穫期》
《名誉あるハイドラ》
《不屈の神ロナス》
《驚天+動地》

…吹いた。赤緑のボムレア4枚。はっきり言って自分でもこれは

獲得レア

持ち込みを疑われても仕方ないレベルだと思った。

むしろ潔白であることを証明するためにデッキチェックをして欲しかったくらい。

最終的なデッキは、こうなりました。

Creatures: 17	Spells: 7	Lands: 17
《ネフー門の鉄球戦士》* 3	《弱さからの脱皮》	《山》* 8
《苦刃の戦士》	《活力のカルトーシュ》	《森》* 9
《ミノタウスの名射手》	《活力の試練》	
《好戦的な巨口》	《オケチラの碑》	
《頭巾の喧嘩屋》	《結束の限界》	
《不屈の神口ナス》	《先手+必勝》※「先手」のみ使用	
《燃えさし角のミノタウルス》	《驚天+動地》	
《ハイエナの群れ》		
《大蜘蛛》		
《栄光をもたらすもの》		
《砂漠セロドン》		
《名誉あるハイドラ》		
《鱗ビヒモス》		
《大いなるサンドワーム》* 2		

構築デッキ

緑のくせに多色支援カードの類がゼロだったのでタッチ黒にするのも避け、除去は薄めでひたすら力押しの赤緑。除去は薄いと言ってもレアの全体除去はあり。

とにかくクリーチャーを展開しつつ何枚もあるボムを引くという勝ち筋は見ていたので、一番怖いのはマナスクリュー。このため土地は「この環境は 16 枚」と考えている自分としては多めの 17 枚。ただし抜きたいカードがなかったので 41 枚で構成。

あと同じ理由でサイクリングを多めに。普段ならばリミテッドのフィニッシャーとしての《砂漠セロドン》や《大いなるサンドワーム》も、躊躇せず序盤でサイクリングさせてもっと強いボムやスペルや足りない土地を引いてくる感じで構わない陣容。

ていうか同じ色のカルトーシュと試練と神の 3 点セットが揃っているプールなんて初めて見ましたよ（笑）。まあ神は神話レアではあるわけですが。

…うん、これやっぱり自分でも持ち込みを疑われても仕方ないレベルですよ。

というわけで「いや、これは 4-0 余裕じゃね？」のスタート（フラグ）。

Round1 Chuさん 白赤緑→白青緑 ××

こちらが事故を起こしたわけでもないのにまさかの0-2での敗退。

G1 ドヤ顔で出した《不屈の神口ナス》が即座に《排斥》され退場するわ、対戦相手が6ターン目に《鱗ビヒモス》を出すわ、2体で相打ちが取れそうな奴を並べてブロックすると1体を《感電》で焼かれるわでスタボロ。

G2 相手が数枚サイドインしたので「…たぶん色を変えてカウンターを入れたな」とは気がついたものの、どうにもならずそのまま開始。序盤早々に向こうが《ナクタムンの侍臣、テムメト》を出してきて「…やベーな」と思いつつ焼くこともできず、4ターン目に向こうが3マナを残し《扇持ち》を出してきたので「…カウンター構えてるか」と思いつつも、タッパーが酔っているうちに焼きたいので5マナ目をセットして《栄光をもたらすもの》を出したら即座に《取り消し》。うん、これは自分でもいささか舐めブだったとは思います。

それから相手は返しの5ターン目に《砂時計の侍臣》を使ってマナ加速をしたうえで《鱗ビヒモス》を出してくるなど「いやちょっと待って」な展開。その後はマナフラも手伝って苦戦をしつつ、それでも前のターン終了時に《驚天》を空打ちした《動地》をX=7で唱えて《鱗ビヒモス》を含めて相手のクリーチャーを全部流した。この時点で自分のライフ8点。

これで一息つけた…わけではなくて、当然とはいえ相手は次のターンに《ナクタムンの侍臣、テムメト》を不朽で出してきたので、それを除去することもできずにそれによりアンブロッカブル3/3で3回殴られて終了。

明らかにプレイングの差は露骨にあったものの、まさかの0-2に自分でもしばし呆然。

ただしその後の感想戦で「いやあ、このデッキで負けるとはびっくりしました」と自分のデッキとプールを見せると即座に「いや、このデッキならこれはいりません断然こっちの方が強いです」とか添削を受けて3枚ほど入れ替えて直す。言われてみれば、その通りの内容だったので、やっぱ自分下手やなあと思ったり。

どこを添削して直して貰ったのかは、ちょっと恥ずかしいので言わない（笑）。

さすがにいささか自己嫌悪になった所へ、アラジンさんがツイッターで「どうやらすぐ飯に行けそうだな」みたいなことをつぶやいていたので、まだ対戦中の盤面を覗いたら戦場にアラジンさんの《リリアナの支配》が置かれて「えっ？」と思い、そもそもその盤面はどう見ても明らかに相手を制しており、ちょうど覗いた直後に勝った。

もうアラジンさんと当たることもあるまいからとデッキを見せて貰ったら、鼻血を吹きそうなくらいに強い白黒の「いったいこれのどこが弱いねん」デッキだったので「いやアラジンさんの**弱い弱い詐欺**は知ってるけど、さすがにこれは三味線が酷過ぎ」といささか毒づいてしまった（スマン）。

ちなみにその後で GP 本戦デッキでアラジンさんとフリプをしていてボコボコにされたよこくるさんも「これのどこが弱いねん」と言っていました。

Round2 Douglasさん 青赤 OO

G1 土地が3枚で止まってやや想定よりは苦戦したものの、《オケチラの碑》を置いて順調に3マナ以下のクリーチャーを展開していたら相手の戦線も薄く、4枚目の土地を置く前に勝てた。

G2 相手が先手ダブマリ。さすがに余裕勝ち。

正直なところ普通にやすやすと勝てたことよりも「いや、このプールで0-2敗退したらさすがに俺は自分が嫌いになりそうだが、そうならなくて良かった」の安心感のほうが大きかったです。

これで1-1。アラジンさんと白木原さんが2人とも2-0で、つまりこれは2人ともすでに440ポイントは確定ラインであり、次に勝てば1400ポイントも狙えるという立ち位置。

自分は次で勝てたら440ポイント確定で、負けたら帰って寝ような立ち位置。

正直なところポイントで獲得できる賞品より「…自分だけノーポイントでフィニッシュになるのは嫌だな」の気持ちのほうを大きく感じつつラウンド3へ。

Round3 Cony さん 白青緑 OO

G1 カウンターを警戒しながら《不屈の神ロナス》を出せ、以後もクリーチャーを展開しつつ比較的順調に進めたものの、空からは殴られる状態で相手が《多面相の侍臣》でロナスをコピー。このため相手がロナスを顕現させるとこちらのハイドラなどでも打ち取られてしまう展開に。これは苦しいと思いつつ、こちらはロナスや他のクリーチャーなどと一緒に殴って一番大きいのを打ち取られる力押しの攻勢を繰り返す。ハイドラは不朽で再度出す。相手のクリーチャーには素でパワー4は居ないのでロナス顕現のため3マナを残す必要があって相手の展開はいささか遅れたものの、空からは殴られ続けて比較的ピンチというかこのままでは負けが見えていた展開。

そこで《先手+必勝》を引けたので、相手（ライフ9）にバトリがあれば負けか」と思いながらも総攻撃。相手はロナスでハイドラをブロックしたので、ハイドラを自分のロナスで+2/+0させたうえで「先手」の2段攻撃でトランブルを通し、勝利。

G2 相手は先手のダブマリ。正直この時点で「勝ったかな」と思うも、それでも相手は空からは殴り続けてこちらのライフは6まで追い込まれる。しかしさすがに勝った。

Round4 Che さん ID

普通にIDが成立。まあそうなるよね。

これでめでたく自分も2-1-0で440ポイントを獲得達成。さすがにほっとしました。

VIPディナー

結局ラウンド3はアラジンさんと白木原さんは2人とも負けたので、結果的には3人とも仲良く440ポイント獲得という結果になった。

プライズを受け取るとそろそろ日付が変わる。さすがに腹が減ったのでDiamond VIPは参加できる今夜の「ディナー」でまだ食べ物にありつけないか考える。

このため、同じ Diamond VIP であるアラジンさんとディナー会場まで移動。

まだ会場は開いており、さらに壁際にフード類もそこそこ残っていたので

（というよりも、そろそろ終了で破棄される直前のものを）手早くアラジンさんと一緒に取り、テーブルに持ってきてもぐもぐ。

ここ数日ほとんど摂取できてなかった野菜類も取る。ニンジンもぽりぽり。野菜が身体にしみる。

ともあれ、アラジンさんと食べながら今夜の祝杯。自分はコーラ（有料）を買って飲んだ。



近所の AM/PM へ

あとは帰って寝るだけだが、アラジンさんが「ホテルの前に AM/PM がある」というので明日の朝食の買い出しも兼ねて行ってみる。会場を出て渡り廊下で向かいの道路に出て、そこから少し北にあるいて発見。

なるほどガソリンスタンドの前に AM/PM がある。飲食物もホテル内のコンビニやスタバよりは安い。アイスの類は充実している。ただ探しても「甘くないパン」が見当たらないのが、いささか残念。

AM/PM を出ると目の前がホテル正面なので、徒歩で道路を横断して、大きな中庭も横断してからホテル入り口から入り、自室に戻る。

とはいえ「何だかんだで敷地外を大回りすることを考えたら、自分は帰りがけのスタバやコンビニでいいかなー、とは思いました（個人の感想です）。

部屋に戻って、シャワーを浴びると1時。

さすがにこれから今日のぶんのマジック日記を書くのは無理。明日の朝に書こう。

ただちにベッドに入って、爆睡。



道路を挟んでホテルの向かいにあったAM/PM。そして謎の看板（拡大）。



2017年6月17日（土） GP ラスベガス モダン

…1時に爆睡したつもりだったのだが、何と2時半には目が覚めてしまったので、起きる。そしてまだアラジンさんと白木原さん2人は起きていた。時差ボケなのか徹夜ハイなのか。ぼくも参入してしばし雑談。そして2人が眠ってしまっても、まだ眠くなかったのでマジック日記をまとめ始める。

とはいえさすがに明日がある話なので、あと何時間は寝ようと4時過ぎに寝る。

9時にすっきり目覚める。よし。これなら戦える。

バイ無しのアラジンさんはすでに部屋を出ていて、バイ1の白木原さんは今一緒に起きた。よかった。どうやらGPラスベガス（モダン）をにょわーする人間は出なかったようだ。

昨夜のAM/PMで買っておいだパンとスタバのコーヒー。正直なところ甘くないパンが売っていたらなあとは思った。口の中の甘ったるさを打ち消すために塩気の強いポテチ（プレーン）をかじる。これはこれで幸せなかんじ。

しかし2個買った甘ったるいパンは1個半で挫折。余りは持参して会場の昼飯にしよう。ネットを巡回していて、ちえけださんもGPラスベガスに来ていたことを知る。

GP ラスベガス モダン 本戦

10時を回ったので、余裕目に支度をして部屋を出て会場へ。

10時45分に3回戦のペアリングを掲示したとのアナウンス。

いよいよGPラスベガス（モダン）の開始です。

自分は2月のGPブリスベンで好成績を残せたナヤ・ブリッツに手を入れたもので参加。

Creatures: 32	Lands: 19	Spells: 9
《ゴブリンの先達》*4	《乾燥大地》*4	《稲妻》*4
《実験体》*4	《血染めのぬかるみ》*2	《アタルカの命令》*4
《ナーナムの改革者》*4	《吹きさらしの荒野》*4	《壊滅的な召喚》
《野生のナカティル》*4	《樹木茂る山脈》*4	
《過酷な指導者》*4	《聖なる鑄造所》	Sideboards 15
《無謀な奇襲隊》*4	《踏み鳴らされる地》*2	《流刑への道》*4
《隠れた薬草医》*4	《寺院の庭》	《大祖始の遺産》*3
《炎樹族の使者》*4	《森》	《破壊的な享楽》*3
		《石のような静寂》*3
		《ガドック・ティーク》*2

構築デッキ

Round1 **BYE**

Round2 **BYE**

Round3 **Nielさん ボロスバーン ×× 12時過ぎに開始**

G1 いろいろなされて負け

G2 ワンマリ土地1枚でキープしたら、やはり2枚目をなかなか引けずの負け。

Rond4 **Jenkinsさん 白青緑 エルドラージ ○○**

割とあぶなげなく勝ち。

Round5 **Stermさん 白青緑 親和 ×○×**

G1 まあ普通に負け

G2 第2ターンにサイドインした《石のような静寂》を置いたら相手が頭を抱える。

さらに《ゴブリンの先達》でめくった相手の次のドロウがエンチャント破壊だったのを

見たので、2枚目を置いたら相手が投了。

G3 自分が親和の対策カード6枚を入れても普通にそれを引かず。しかたないね。

この方は米国のとあるショップのロゴ入りのTシャツを着て同じ柄のスリーブを使っていたので、思わず「ショップ関係者ですか？」と話しかけたら変な顔をしていた。後でその対戦を見た人に教えられたのだが、どうもこの方はそのショップのスポンサードを受けているプロの方だった模様。この件を後で話したら「それは**酷い煽り**ですね」と口々に言われる。ゴメン素で誰だか知らなかったんです（でもそこは察しろよな話）。

Round6 Cheyneeさん 黒赤緑 ドレヅジ xOO 16時過ぎに開始

いろいろ展開されるも勝ち。

Roun7 Jamesさん 白緑エルドラージ OO 17時半頃に開始

G1 ぶん回って3キル勝ち。

G2 まあ勝ち。

ここまで5-2。これはもしかして本戦通過できるかな！ 通過できたら今度は別のGPがあるわけでもないの、PTQシールドよりは本戦だということで気合を入れて続ける。

Round8 Murcusさん 青 フィッシュ xOx 19時前開始

G1 まあ負け

G2 まあ先手勝ち

G3 まあ負け

Round9 McNights Vinsentさん 白青コントロール Oxx

ざんねん！きみの冒険はここで終わってしまった！

マッド・オニオンで夕食

ともあれ、これで心おきなく明日はPTQシールドを楽しめる1日になりました。

時間は21時。結果的に自分はパスしただけのメガ・リバウンド（モダン）をプレイしていたアラジンさんの負けドロップを待ち、よこくるさんと、本戦を終えたちえけださんをピックアップして4人でフーターズ・カジノホテルへタクシーで移動。タクシー代は4人割りで1人8ドル。

まずは夕食ということで、火曜日に閉店していて食べ損ねた「マッド・オニオン」へ。
シェフのおススメのステーキセット。

最初に出てくるパンやスープで満腹しないよう注意しながらつまみ、いよいよ本題のステーキ。やや脂身多め（つまりランクは低いが日本人好み）のステーキ肉。そして大量のポテト。うん、食べきれません。
適当なサイドを皆でシェアして1人\$22。
やっす！やっぱマッド・オニオン最高。



フーターズのカジノ

そしてもちろん食後は、いよいよお楽しみのフーターズでのカジノ。

フーターズのブラックジャックのミニмум5ドル台は、やはり楽しくて時間を忘れる。

やはりカジノはブラックジャックが最高だね！ スロットマシンやルーレットほど完全な運任せでもなく、ポーカー程ガチでもなく、本質的には「確率的にベスト」の行動は確定しているので勝ちだけを狙うなら頭を使う必要はないものの、それでもそこを外した所で一応自分の「運試しの選択」があって、それが当たったり裏目に出て一喜一憂できる。

そして結局は胴元が勝つゲームではあるものの、時折は確率のゆらぎで自分が勝っていることもできてその時に「やめる」ことができれば黒字にできるゲームだというのが自分の理解。だから5ドル台なら種銭の\$100を用意して20回打つと、勝ったり負けたりしてなかなか減らないので負けるとしても長時間ちびちび楽しめる。そしてフーターズカジノホテルではその間は**ディーラーのおっばい**が観賞できる。最高。

実のところミニмум\$15台だって種銭を\$300用意できれば話は同じで、そして勝った時にはより多くの儲けを得られる…というのは頭では理解できているものの、とはいえ貧乏人には普通に「一晩で3万円失うのは痛い」から\$5台で楽しむという話ではある。

ちえけださんと同じ台で遊んでいたのだが、同じ台には破滅的な賭け方をするおっさんが居てカネを溶かし続けていたので、ひそかに注視しつつ、あとで回想してゲラゲラ笑う。

こんなことも時にありました。エースの2枚を「スプリット」したら3枚目もエース。それを「スプリット」をしたら4枚目もエース。思わず撮影しましたが、ディーラーも映ってないので黙認の模様。

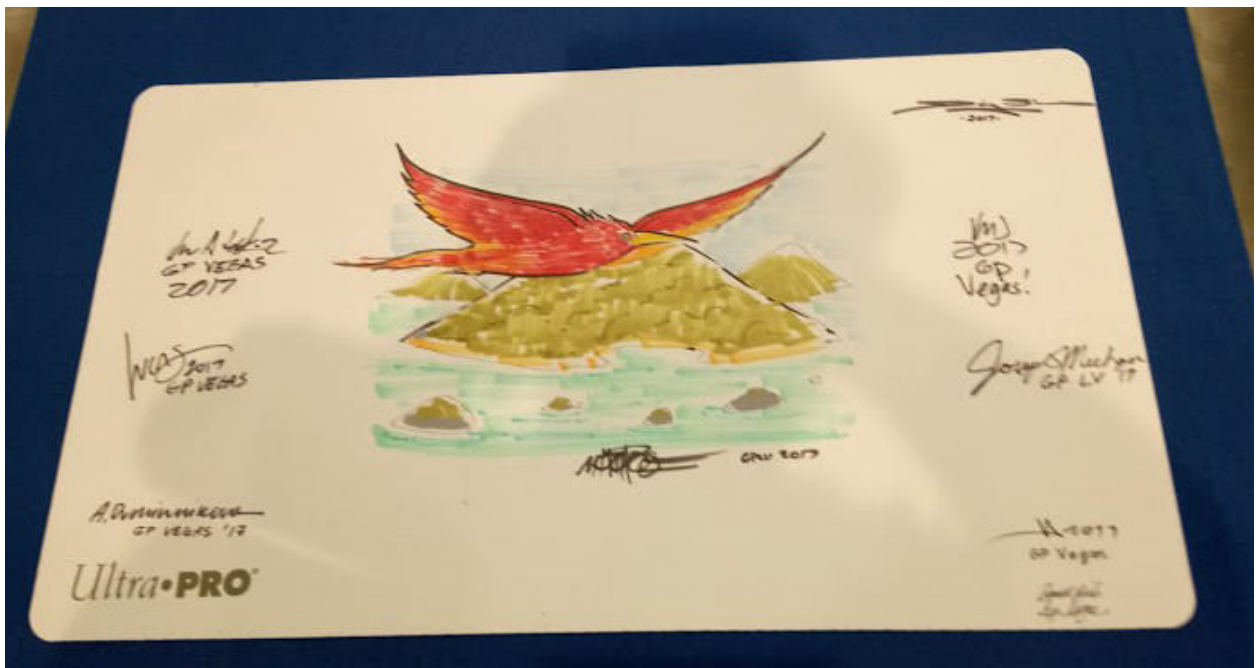


日付が変わる頃まで遊び、ちえけださん

と「これが無くなったら止めましょう」と決めたコインを失ったので席を立つ。それからアラジンさんとよこくるさんの終了を待ってカジノを離脱。

ホテルに戻って寝る

GP 本戦こそないものの、さすがに明日に触るので切り上げてタクシーでホテルに帰る。
なお、初ラスベガス・初ブラックジャックのちえけださんが大勝（100ドル入れて150ドル超が戻った）、自分とよこくるさんが小勝ち（プラスで終了）、**もう1名**は省略。
このため帰りのタクシー代は3人で割って1人11ドルになりました。
すでに白木原さんは寝ていて、アラジンさんは部屋に戻るなり沈没。
自分はシャワーと荷物の簡単な整理と、日記書き。



今回の寄せ書きプレイマットはこうなりました。初日には8名のサインを貰ったものの、みんな遠慮して誰も中央に描かないので中央が空きました。
このため「ひとつ誰かに中央にでかい絵を描いて貰おうかなあ」と考えて、Poole先生の所に行き\$80ほど奮発して「ラージサイズ」「カラー」「極楽鳥」を指定。
よし我が家の家宝入りがひとつできた。

日記をまとめて、2時就寝。

2017年6月18日（日） PTQ シールドの朝

5時前に目が覚めてしまうが、だらだらネットなどしているうちに外が明るくなってきた。

予約済のPTQシールドは9時からなので、意気込んで早めに8時前に部屋を出てから、スタバで朝食のクロワッサンを買って会場についたらまだ開いていなかった。そうか。無料WiFiの電波の届く外で待つ。

昨夜、白木原さんから「プライズウォールのポイントで交換ができる賞品のうち良い物

（デュアランとか）が、もう夕方にはどんどん無くなっていて**取り付け騒ぎ**のような様相を呈していた」とかいう報告を

受けたため、PTQシールドで貰える

（かもしれない）ポイントのぶんは考えずに、手持ちの700ポイントを交換してしまうことにする。アモンケット70パックとか持ち帰りたくないよね（笑）。まだモダマス2017に交換できたので全部それと交換。14パック。



VIPコーナーの無料コーヒーを入れて、スタバのクロワッサンの朝食。朝の薬も飲む。



今回「面白い」と思ったのは、この会場の南側が半地下部分がトイレとフードエリアで、その上が受付とアーティストエリアであるあたり。

これらはVIPエリアからも近い。
割と快適な設計。

（P.27のマップ参照）

PTQ シールド構築開始

9時を回りPTQシールド構築開始。

プレイマット等つくので一式入りケースで配布。

まずはデッキチェック。



マスターピースの納墓来たか。リミテのデッキには入るものではないコンボパーツだが、引き運は悪くない。

デッキは特に工夫もなく白緑タッチ赤で組む。厳しそう。

マスターピース《納墓》
《エイヴンの思考検閲者》
《威厳あるカラカル》
《暗記+記憶》
《枕戈+待旦》
《造反の代弁者、サムト》

獲得レア

Creatures: 18

《扇持ち》
《突風歩き》
《療治の侍臣》
《苦刃の戦士》
《活力の模範》
《エイヴンの思考検閲者》
《献身的な門友》* 2
《レトー門の槍の達人》
《ターー門の精鋭》* 2
《横断地のクロコダイル》
《威厳あるカラカル》
《補給の隊商》
《巨大百足》
《造反の代弁者、サムト》
《大いなるサンドワーム》* 2

Spells: 6

《マグマのしぶき》
《絶妙なタイミング》
《枕戈+待旦》
《活力のカルトーシュ》
《楽園の贈り物》
《オケチラの碑》

Lands: 16

《進化する未開地》
《色彩の断崖》
《平地》* 7
《山》
《森》* 6

構築デッキ

Round1 キヨナガさん 青黒赤 xOx

日本語はできなかったの、日系の方のようだった。

G1 ルアーでフィニッシュされる。

G2 まあ勝った。

G3 まあ負けた。

Round2 Drewさん 白黒緑 xx

G1 こちら平地しか出ない色事故で負け。

G2 相手に白の神様が降臨して負け。

Round3 13 時頃開始

BYE。うん、どうせもう上位はないし 1 勝はポイントに結び付くから歓迎。

Round4 ナサニエルさん 黒赤緑 xOx

G1 最後に決めカードを手札 2 枚捨てさせられて、負け。

G2 まあ勝った。

G3 最後に決め（略）

Round5 Alexさん 白黒緑 xOO

まあ普通に勝った。

結果、2 勝 3 敗で 200 チケを貰って終了。ありがとう BYE さん。

時間は午後の 4 時。まだ粘ればドラフトの 1 回や 2 回はできる時間なのですが、さすがに 5 日間耐久マジックを終えてなお食欲にそこまでマジックを求めることもないので、もうマジックは終えて皆で最後の観光に行くことになりました。

すなわち、これで **5 日間耐久マジックを完走**。いや疲れたけど楽しかったー！

PTQの合間にあれこれ

PTQ シールド 3 回戦の BYE の待ち時間の際に、
気になっていた会場入り口近くのピザを試す。

もぐもぐ。うん普通においしいです。

\$6.25 なら「安い」んじゃないかな。



今回の Diamond VIP は会場を見下ろす「スカイラウンジ」に容易にアクセスできる構造だったので、アラジンさんに協力して貰ってスカイラウンジの窓際に立って外から「愚民どもめ」のポーズを撮影して貰う (P.27 参照)。

さらに同時併設されていた「マジック・アート・ショー」を覗く。懐かしいマジックの原画やラフスケッチなども一緒に展示されていて眼福眼福。

「今もまだマジックのアーティスト全員がデジタルに移行したわけでもないのだな」とも思いました。



あと、女房への土産にかわいいポーチ（ダイス袋）を購入。今日は財布の紐をゆるゆるにしたから購入に踏み切ったけど、実はかなり高かったです（\$25）。普段なら買わない。なお、描いてたアーティストはデブのおっさんでした。

最後のプライズ変換



最後のPTQで得た200ポイントを含めての、残りのプライズの変換をする時がきた。

残り全部をモダンマスターズ2017というのも芸がないので、あるいは日本土産にでもなるかと思ってChannel Fireballの「日本」の国旗をアレンジしたTシャツに変換（最後の残り在庫）。あとは余剰をモダマス2017のパックにし、さらに端数はパック10ポイントのアモンケットのパックに変換。

これでやることは本当に終わったので会場を離脱。

ホテルの部屋に戻る

全員が終わり次第、観光に行くことを約してから部屋に戻ると16時半。こんなに陽が高い時間に部屋に戻ったのはこの5日間を通して初めてでした（笑）。

部屋に戻るなり、ベッドに横になって沈んでいたものの、ほどなくアラジンさんも戻り、結局は自分とアラジンさんとよこくるさんと、ちえけださんの4人で17時にホテルのロビーで待ち合わせでフリーモントに行くことに。

白木原さんは別行動となりました。



フリーモントへ

4人でタクシーに乗って、3度目の
ダウンタウンのフリーモントへ。
タクシー\$15をチップ込み\$16に
して4人で割る。

…うんまあやっぱりここは「夜」に
来るところかな。

とはいえフリーモントストリート・
エクスペリエンスを含めて、夜まで
ここで遊ぶ気はまんまんだったので、夜まで時間を潰すことにする。



レストランの前に体重計が設定されて「体重 350 ポンド以上の奴は無料！ただし健康に
注意しろよ！」という酷いネタがあったのでみんなで体重を量る。自分は193ポンド。

皆でだらだらと土産物屋を回る。くだらない「ひっくり返すとヌードになるボールペン」
の男版があったので、女房への**いやげもの**として購入。熱海の温泉旅行かここは。



あと「おっぱいマグカップ」という
本当にくだらないものもあったので
購入。誰得だこの土産。

I Love Boobs（おっぱい）。
乳首のところに穴があいており、飲み物を入れて
右手で持って乳首から吸うという仕組み。

液体が入っていて倒すとパンツが脱げる。
この向きだとボールペンで「書いている」ときは
パンツで、反対側にひっくり返すとモロチン。

Slotzilla で遊ぶことを検討

自分がかねて、フリーモントの Slotzilla（ワイヤーで空を滑空するアトラクション）には

興味があったので、滑空中での眼鏡を何とかしたうえでチャレンジするかなとも考えたものの、乗り場のビルに入って値段を聞くと時間とメニューによって違うものの\$25~\$45。

まあ正直なところ、自分には想定内のお値段ではあったものの、明白に他の3人はつきあってくれそうにない。



そしてこのアトラクは、アーケードを端から端まで移動して終了なので、1人だけで遊ぶということはアーケードの反対側まで行った自分と他の3人が**歩いて合流する必要**があるということで、これは断念。

ダウンタウンのカジノ（1 軒目）

まだ腹は減っていないし、時間潰しにはやはりカジノであろうという結論になる。手近な店に入り、ブラックジャック台を探す。ダウンタウンはやはり貧乏人の街なので、普通にミニマム\$1や\$5の台があるので、打ち始める。

しかしフーターズよりも割が悪い（\$5でブラックジャックを当てた時に\$2.5でなく\$2しかボーナスをくれなかった）し、何よりも**ディーラーがおっぱいではない**ので打っていてもあまり楽しくないので、\$20くらい減らして離脱。

他の皆も割と似たような感じだったようで「もう（ここには）来ねえよ！」な気分。

カジノ（2軒目）と夕食

カジノを離脱がてらに、そろそろ日が暮れてきて腹も減ってきたので夕食の検討を始める。アラジンさんが同じ建物の中のバフェイを主張するも「全員すったこの建物はゲンが悪いです」といったん却下して、同等に他によさげな店がないかどうかを探してストリートをうろうろするも、なかなかピンと来る飯屋が見当たらない。

さらに勢いで、従業員がえっちなドレスを着ていた別のカジノに入る。

…しかし結果はやはりかんばしくなく、少し打って終了。

そうこうするうちに 20 時を回り、フリーモント・ストリート・エクスペリエンスも始まったのでそれを鑑賞しながら通りを戻る。



そして結局は、最初は却下した

店のバフェイで夕食にすることになった。そして入ってから気がついたがここ **4 年前に**
来たことのある 店だ。やっぱり値段と質が僕たちの価値観で折り合う店はここか。

それはそれとして、肉や野菜をたんまりを含めおいしく夕食をいただいて終了。もぐもぐ。

えっちなコスプレ娘とカウガール（カジノ 3 軒目）

ゆるゆると食事を終えると 22 時。そういえば今回の GP ラスベガス本のため、えっちなコスプレ娘との写真を撮らねばなあ…と相談していたらアラジンさんが SM ショーのようなパフォーマンスをしている**ケモノコスプレの 2 人娘**を指して「あの娘たちで

いいんじゃない？」と提案。即応しチップを払い撮影して貰う…うん、とってもいい写真が撮れました（本書の口絵）。

さらにまだ遊び足りないので別のカジノへ。ここはウエスタン風のコンセプトのようでしたが、カウガールの**おっぱいディーラー**が札を配っていました。さらに\$5以上のポーカーチップは女の娘の写真入り。ぶっちゃけフーターズカジノとほぼ同一システム。このためとても楽しい時間を過ごすことができ、ついでに少し勝てました。大満足。よこくるさんに至っては\$40が\$140になった大勝ちで終えた模様。

本書を含め何度も述べていますが、2015年と2017年に利用した Westgate ホテルは「GP 会場に近い」以外のメリットがほぼ皆無なので、GP ラスベガス会場が別の場所になれば利用しないことは確実です。その場合は「フーターズカジノホテル一択だね！」ともこれまでは考えていたのですが、あるいは2013年のように「ダウンタウン寄り」の会場で今後 GP ラスベガスが開催された場合には、街の南端でありダウンタウンにはだいぶ遠いフーターズカジノホテルでなくダウンタウンの安ホテルに泊まり、カジノはここで遊ぶのも大いにありだなとも思いました。答えは2年後。

深夜の高いタクシー

うって変わって大満足で何時間か遊んで3軒目のカジノを出る頃にはもう日付が変わっていました。あとは帰国するだけですが、何にせよホテルに戻らねばなりません。

展示されている金塊を眺めたりぶらぶらしながらタクシーを探します。しかしどうやら、午前1時を回るとタクシーは店じまいを始めるようで、声をかけたタクシーの運ちゃんにふっかけられたうえ値切ろうとすると断られたりする始末。

どうしたものかと歩いていたら、前にいた運ちゃんが「タクシーか？」と聞いてきたので「そうだ」と答えると行き先を聞いてきたので Westgate と答えると「～だが\$25」と言ってくる（あまり聞き取れなかった※）。3人の所に戻って「\$25だって」と伝えると

3人とも「行きは\$15だったのに**ふざけんな値切ってやる**」と口々に言うも、案内された実際の車を見て全員爆笑し「いやこれなら\$25 だわー」と即座に納得。

※正解は「リムジンだが\$25」でした。



撮影：ちえけださん

人生初リムジン。たぶん他の3人もそうだったろうが、記念撮影をしたり（本書の表紙）車内でもキャッキュウフフしながら楽しいひとときを過ごしてホテルに戻る。チップ込み\$28を4人割りで1人\$7。

明日の早朝にラスベガスを出るアラジンさんとよこくるさん、それに自分の3人は、これから荷物をまとめてホテルを午前3時にチェックアウトするので、運転手に「自分たちはこれから午前3時にここから空港へ向かうのだが、午前3時にここにきてくれないか？」と依頼するも「今夜はこれにて店じまい」と断られる。まあ仕方ない。向こうにすれば「自宅への帰りがけ」にこちらをピックアップしもうひと稼ぎということだったのだろう。

いやあ、最後の最後に面白いサプライズがあったものですねラスベガス。

2017年6月19日（月） 移動日

ホテルに戻る。白木原さんがまだ帰っていなかったというのはやや意外だったが、とまれ自分たちはこれから帰国のための荷物をまとめて午前3時にチェックアウトして空港へ。基本的には「ミャンマーに持ち帰る」ものだけリュックに詰め、他全部はスーツケースに収めて、それを成田で自宅まで発送することにする。

これからミャンマーに戻る自分は「米ドルはミャンマーで現地通貨に両替し生活費に充当できる」のでいくらあっても困らない。このためアラジンさんから余った米ドルを部屋代3等分（ベッド補正あり）の料金として受け取ったりする。

白木原さんとは、いずれ日本に帰ってから清算するしかないな…。

空港へ

午前3時、何ごともなく「まだ1人寝ている」と伝えたうえでチェックアウトを終えて、3人でホテルの前でタクシーを拾い、空港へ。

ターミナル2のアラジンさんが先に降り、ターミナル1で自分とよこくるさんが降りる。\$24だったのであとでアラジンさんに\$8請求しよう。

6時の便のよこくるさんは、ただちに搭乗手続きに入るため、ここで別れる。9時過ぎの自分の便はまだ受付が始まっていないので、しばらくここで時間を潰すしかない。待っているうちにちえけださんらが来た。どうやらよこくるさんと同じ便のようだ。

午前4時にチェックインを受け付けてくれたが、荷物はまだ1時間ほど待たないと引き取ってくれないようだ。待つしかない。

午前5時、荷物を受け取ってくれたので身軽になりました。荷物は途中ロサンゼルスでもいったん受け取る必要は別になく、成田まで直送してくれるとのこと。ありがたい。

ではとりあえず中へ進もう。待つのは搭乗ゲートの位置を確認してからでいい。

なにごともなくセキュリティを通過し、5時半に中へ。次は2年後かなあ。さらばラスベガス。



52番ゲート前で朝食



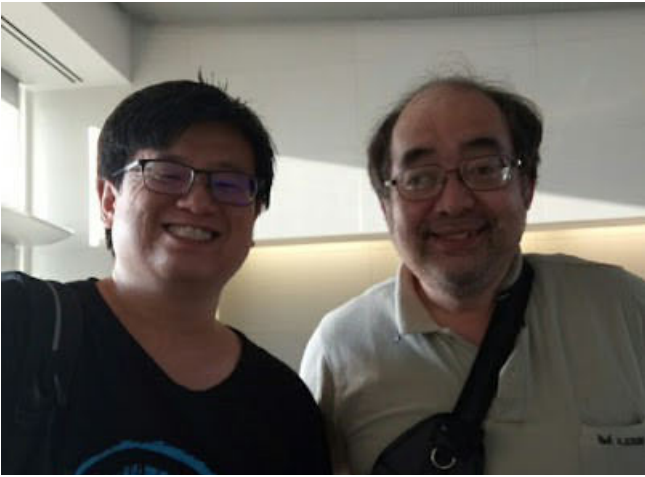
ほどなく 52 番ゲート前に到着。あと3時間ほどここで時間を潰す必要があるので、まずはノートPCの電源を確保する。ほどなく壁際のコーナーを発見し、着席。

さらにその近くの開いているショップで飲み物と朝食を購入。エッグとチーズとベーコンをクロワッサンではさんだ物をレンジでチンした、ほかほかのサンド。

かなり**僕の好きなもの**だけで構成されている、この幸せ感。朝の薬も飲む。

ヒマなのでPCでネットを巡回。空港Wifiは普通に使える。どうやらGPラスベガスでは自分はPWP511点を稼げたようだが、何とか来年の1バイは欲しいなあ。

こんなところで QJ



引き続き PC を操作しヒマを潰していたら 6 時半に声をかけてくる者が居た。誰かと思ったら QJ だった。

QJ は別の便で SFO 経由で成田に行って、成田からクアラルンプールに帰るという。成田は空港を通過するだけで日本観光に寄れないのを残念がっていた。

QJ は 7 月の GP 京都にも来日するようだが、当の自分が GP 京都には行けないので、次に出会うのはおそらくは 10 月の GP 香港か 12 月の GP シンガポールになるであろうと話す。特にシンガポールは QJ のマレーシアからは近いのですでに行く予定を入れているようだ。搭乗開始する QJ と別れて自分は引き続き暇つぶし。

ラスベガスからロサンゼルスへ

午前 8 時半、むちゃくちゃ眠いが、搭乗までの辛抱だ。そして少し遅れて搭乗は 9 時半に始まり、ほどなく離陸。さらばラスベガス。

1 時間半ほどのロサンゼルス行きは、眠っていたし機内サービスもないので、書くことは特にありません。

出発が予定よりも 1 時間近く遅れたので 12 時 10 分発のロサンゼルスから成田への便の搭乗がすでに開始されていたのですが、別に慌てる必要もなく売店を覗いたりして時間を潰してから搭乗。米国にはパスポートに判を推す「出国」手続きがないのがいつものことだが違和感。そして何ごともなく成田への便が出発です。

2017年6月20日（火） 帰国日

とりあえず12時10分にロサンゼルスを出たユナイテッド32の12時間の空の旅です。

何はともあれ、まずは席につくなりたちまち睡魔。

13時過ぎにオレンジジュースとスナックを受け取り、ごくごくもぐもぐ。

さらに夕食の機内食を平らげる
(味はまあ普通) なり爆睡。



ぐっすり眠り目が覚めたら米国
西部の時間では月曜の18時。
日付変更線を西に回ったため、
いまは日本時間では火曜の午前

10時ということになります。よしこれなら時差ボケにも悩まされなそうだ。

機内映画を楽しみつつ朝食

もう時差ボケ解消のためにも寝ないほうがいいので、機内映画を楽しむことにする。同じユナイテッドのエコノミーではあるが、行きと違い今度はきちんと個室モニターで映画が観られるのだ。

まずはかねて観たかった「ドリーム」こと「ヒドウン・フィギュアズ」に日本語吹き替えがついていたので喜んで鑑賞（日本の劇場公開は9月らしい）。これは傑作ですね。

あと1本映画を観る時間があるなということでリストを探す。日本語がついていたのなら「メッセージ」一択だったんだけど、残念ながら無いので見送り。

何度も映画館で予告編を見せられた、女スパイ物？らしかった「マリアンヌ」があったので「これでいいか」と思いながらかける。割とスイーツ。



鑑賞中の14時に「朝食」のスクランブルエッグ。味はまあまあ。ほどなく鑑賞も終了。

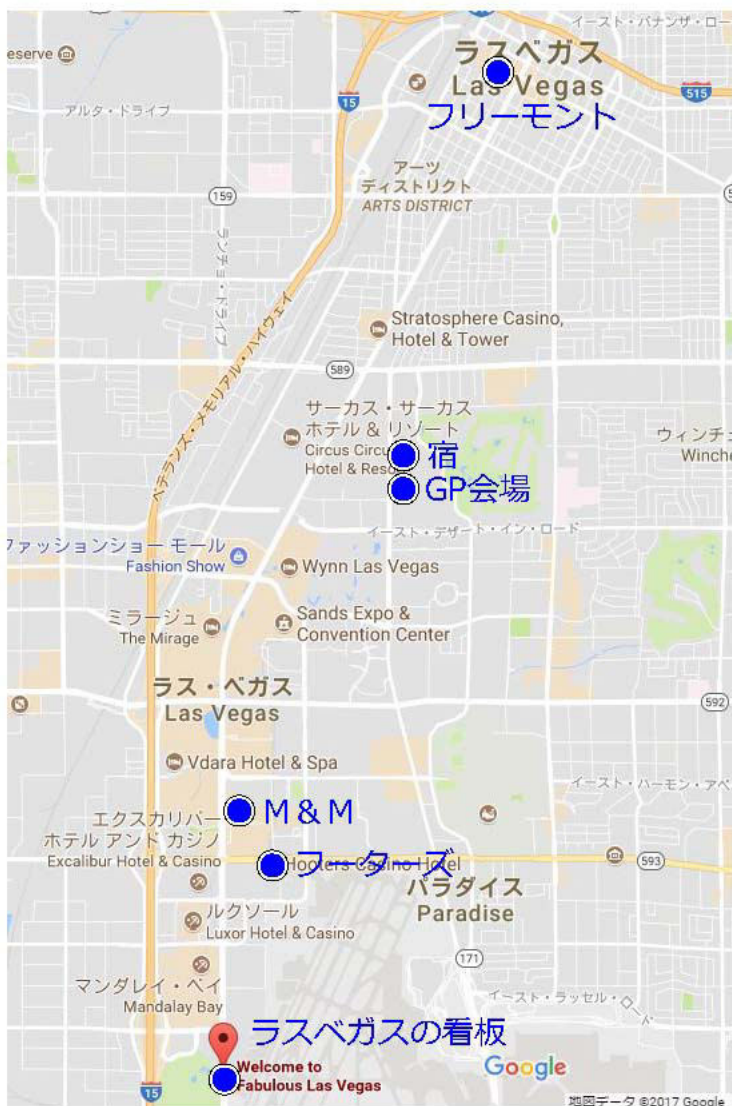
帰国そして出国

なにげともなく15時20分、成田空港に到着しました。そして何げともなくイミグレを通過して、手荷物を受け取ります。

いつもならここで総武線で新小岩まで帰るのですが、今回は入国こそしたもののこのまま成田空港でスーツケースを家まで送り、会社の人間に会いミャンマーに持って行くものを受け取って、そして20時55分発のエアアジアでマレーシアに向かい、マレーシア空港で夜を明かしてから明日の朝8時にミャンマーに到着します。

従って「お家に帰るまでがGPです」といういつものフレーズは使えませんが、ともあれ体力の限界（特に睡魔）と戦いつつ**5日間のマジック耐久マラソン**を完走できた喜びとともに、ここで筆を置きたいと思います。

（完）



Copyright:Google

フリーモント

6/18 (日) P.59～63

宿 (Westgate Hotel)

6/13 (火) ～6/19 (月) P.12～64

GP会場 (Las Vegas Convention Center)

6/14 (水) ～6/18 (日) P.18～58

M&M

6/13 (火) P.15

フーターズ・カジノ・ホテル

6/13 (火) P.13～14

6/17 (土) P.51～53

ラスベガスの看板

6/13 (火) P.14～15

GP ラスベガス 2017 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2017年8月13日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者 (ひろじ) について：

<https://twitter.com/kondohi> (ツイッター。最近はここメインです)

<http://otakutalker.diarynote.jp/> (ダイアリーノート。マジック関連はここで)